



す



世界有数の巨大カルデラで
人と火山が共生する阿蘇、
蒼い海と大小120の
美しい島々からなる天草、
司馬遼太郎が紀行集で
「日本でもっとも豊かな隠れ里」
と記した人吉球磨。
熊本県には45の市町村があり、
それぞれの暮らしがあります。

このガイドブックをヒントに
あなたのライフスタイル、そして
これから——っと
熊本で暮らすこと、考えてみませんか？



Contents

熊本って、こんなところ！ 03
くまもともんはどぎゃんもん？
わさもん 05
よかもん 07
うまかもん 09
しあわせもん 11
「くまもと暮らし」までのステップ 13

自分らしい働き方を見つけよう！
企業に「就職」する 15
やりたいことで「起業」する 19
熊本で「就業」する 21
「林業」「漁業」「医療」「福祉」で働く 23
住まいを決めよう！ 25
子育てしよう！ 26
くまもとの暮らしをサポート 27
「お試し暮らし」をしてみよう！ 29
地域支援団体等の紹介 30
* 移住者インタビューは平成29年取材時の内容です。

熊本県 全市町村ガイド
市町村別支援施策早見表 32
市町村ガイド 33
くまもとアクセスマップ 45



っと、くまもと。



待っとるけん！

熊本って、こんなところ!

人口 **1,756,442人**

男性 **829,423人** 女性 **927,019人**
718,125世帯

※「平成30年度版熊本県統計人口調査」より

日本文化の象徴：いぐさ

国内生産量 **1位**

いぐさの作付面積は全国の90%以上。国内の豊表(たみおもて)の大半が熊本で生産されています。近年は生活スタイルとしての畳の利用だけでなく「食べるいぐさ」や壁紙など新たな活用も注目されています。



その人気は世界クラス

5秒で完売!

圧倒的人気で熊本の認知度アップへ貢献してきた「くまモン」。様々なコラボ商品が話題となり、ドイツの高級ぬいぐるみメーカー「シュタイプ社」が2013年に1,500体限定で発売した「ディベアくまモン」は、なんと5秒で完売!



熊本のシンボル
日本 **三名城**



“築城の名手”こと加藤清正が手掛け、周囲5.3kmもの城郭を擁する熊本城。中でも難攻不落の城にふさわしい石垣“武者返し”は圧巻です。

全国トップクラスの
医療環境
第 **7位**



日本赤十字社発祥の地であり、高度医療を提供する全国屈指の病院が集積。人口10万人あたりの病院数は全国7位を誇ります(厚生労働省の平成28年「医療施設調査」より)。

47都道府県別
地価ランキング(住宅地)
全国 **29位**

熊本市 m単価=平均62,400円
 市部 m単価=平均17,800円
 町村部 m単価=平均13,600円
 ※熊本県「平成30年度地価調査結果」より



野生のイルカとの出会い
遭遇率、なんと**95%!**

天草市五和町の沖合いに約200頭もの野生のイルカが息を。人懐っこく船まで近づいてきてくれます。大海原を悠々と泳ぐイルカの群れに癒されること間違いなし!



気温、気候

(平均気温や地域ごとの気候の特長など)

2018年の熊本県の最高気温**38.1℃**、最低気温は**-5.2℃**。寒暖の差が大きいことが特徴です。山に囲まれた熊本平野は年平均気温15~16℃。天草・芦北地方は冬も6~8℃以上と暖かい一方、阿蘇や人吉・球磨地域は1月の平均気温が5℃以下に。



実際
どうなの?

センパイ移住者のリアルマネー事情

サラリーマンAさん(30代の場合)

出身 埼玉栗川超市(妻は熊本市)
 移住地 阿蘇郡南阿蘇村(2012年に移住)
 職場 熊本市中心部
 家族構成 妻、長男5歳、次男3歳

月収 **28万円**

収入は移住前の約3割減ですが、家賃が1/3に。野菜をいただく機会も多く「自分たちで作れないか」と購入以外の選択肢を考えるように。熊本はおさがりをあげる風習があるのか、子ども服は近所からのおさがりで賄い、乳幼児期以外はほぼ買っていません。

(支出の内訳)	
家賃	3万円
食費	5万円
ガソリン代	4万円
光熱費	3万円
教育費	2万円
貯蓄	3万円
雑費	8万円

個人事業主Bさん(40代の場合)

出身 熊本市(2013年に東京都からリターン)
 職場 自宅(熊本市内)
 家族構成 一人暮らし

月収 **48万円**

東京での経験を生かして独立し、3年目から軌道に。家賃は熊本の相場より高めですが、東京の頃は同じ家賃で築30年のワンルーム。現在は新築で3倍の広さに、車で1時間ほど走れば海、山、川があり、ストレスフリーな生活です。

(支出の内訳)	
家賃	7.6万円
食費	4万円
駐車場代	1.1万円
ガソリン代	0.8万円
水道光熱費	1.3万円
慈善団体へ寄付	0.7万円
貯蓄・投資	16万円
雑費	16.5万円

ほかの地域との
「現金給与総額」比較

全国 361,593円
 東京 458,920円
 大阪 380,664円
 熊本 **315,678円**

※厚生労働省「労働統計年報 平成28年」より
 現金給与(事業所規模30人以上)

2人以上
1世帯当たりの消費支出

東京都区部 321,147円
 熊本市 **262,224円**
 (全国平均277,361円)

※総務省2017年6月公示「家計調査」より

「わさもん」 Wasamon

新しいモノ・コトに敏感な県民性です。

熊本県民の気質を表す言葉に「わさもん」があります。「新しいもの好き」を意味する一方、人とは違うモノ・コトへの感受度が高い県民性でもあります。市街地にはセレクトショップが多く、あらゆる分野で新しいことにチャレンジできる土壌があるようです。

熊本は
オシャレの
発信地!



ファッションショーでは、市民モデルも活躍

“新しいもの好き”を「わさもん」と呼び、この県民性こそオシャレに敏感な理由。1970年代後半にはブランドの旗艦店が街を彩り、日本のファッション界を牽引してきました。現在もイベント「まちなかコレクション」を毎年開催し、ファッションの街として賑わいをみせています。

センパイ移住者の わさもんLIFE

ガーデンデザイナー、
ワイン用ぶどう栽培農家

パシュリー・ジェームズさん(39歳)

(玉名郡南関町)

イギリス出身、ガーデンデザイナーと同時にワイン作りをスタートすべく、2017年8月に南関町へ移住。妻・絵美さんと子ども2人の4人暮らし。



ここがぶどう栽培を始める予定



マチナカ&熊本駅
周辺がさらに
便利&刺激的に!

中心市街地のランドマークとして2019年夏に完成を迎える「桜町」再開発。日本最大級のバスターミナルを有する複合施設が誕生します。また2021年春には熊本駅ビルが開発予定。駅周辺再開発により、ホテルや商業施設、「水と緑の立体公園」など幅広い世代が楽しめる場となる予定です。



(上) 桜町再開発
(下) 熊本駅ビルおよび駅周辺再開発
(いずれも完成イメージ)

南関で難関に挑みます!!

ワイン用のぶどうを栽培する夢を叶えるために熊本県内で適地を探していたところ、南関町農業委員会の方々がとても親身に相談に乗ってくださり、南関町への移住を決めました。6500平米ほどの畑を購入し、土作りを進めているところ。苗木はフランスから取り寄せ、質の高いぶどうを取穫できるようになるまでには7~8年程かかる予定です。長い道のりですが、「難関突破のまち」南関町から良質なワインを出荷したいです。

南関町で初となる取り組みに、周辺からの期待も大きい

センパイ移住者の わさもんLIFE

デザイナー

伊澤良樹さん(39歳)

(阿蘇郡小国町)

東京都出身。デザイン事務所を経て、2004年コム デ ギャルソンでデザイナーとして活動。2011年ウォルト・ディズニー社でクリエイティブ・マネージャーとして様々なコラボ企画を実現。2016年に独立して小国町に移住。九州と東京の2拠点で活動中。妻と子ども2人の4人暮らし。



写真右/「ASO OGUNI-SUGI LAB」のクリエイティブ・ディレクション(写真はsnow peak in field 大塚 / 喜岡)、写真左/「阿蘇小国ジャージー牛乳」パッケージデザイン(写真は60周年パッケージ)、2018年発売の新パッケージもデザインを担当



地域の資源をデザインで伝える。

第2子の出産と独立するタイミングが重なり、新しい拠点を探すごとに、東京拠点よりも、真逆の環境(自然が多く、水が綺麗な場所)の方が未来への可能性を感じて移住を決意しました。拠点探しは、直感とご縁。移住セミナーで小国町の担当者と意気投合して、翌年に移住。現在は小国町の顔である「阿蘇小国ジャージー4.5牛乳」のパッケージデザインや森林組合の「ASO OGUNI-SUGI LAB」というアウトドア・ブランドのディレクションなど、デザイン力で地域資源を多くの人に伝える活動をしています。今後は阿蘇、熊本、九州とエリアを拡大して、デザイン活動をしていきたいです。

センパイ移住者の わさもんLIFE

料理人

寛 孝徳さん(34歳)

(天草市)

福岡の飲食店で15年間修業を重ねたのち、故郷へリターン。熊本では珍しい薫製料理を味わえる和食居酒屋「天草わら焼肉」を2017年にオープン。妻・ふみささん、長女・せりからちゃん、長男・太造(たお)くんと4人暮らし。



福岡で暮らしていた頃は行かなかった海水浴も、牛潭の海の美しさに魅了されることで度々訪れるように。客として訪れる同級生の話に魅了され、今年から本格的に釣りを始める予定



感動した味を故郷に広めたい!

周りが続々と独立し始めて刺激に、上の子が生まれ、子育てを考えると故郷で独立しようとの結論に至りました。そこで店の主軸として選んだのが、福岡で初めて食べて感動した“わら焼き”料理です。熊本で同様の専門店が見当たらず、これを売りにしようと決意しましたが、かつて牛潭町ではわら焼きの魚を食べていたそうで、地元の人から「懐かしい味だね」と想定外の反応をいただく一方、若い年代には目新しいと喜ばれています。何でも手に入る都会の暮らしと比べて不便に感じることもありましたが、それ以上に豊かな自然や人の種やかさに触れ、改めて地元の良さに気づきました。今年は釣りに力を入れ、地元のウナギを振興したいです。

多量の魚を使って調理する「わら焼き」。薫香が絶品の魚を呼ぶ。地元はもちろんだら、長年馴染んだ福岡からも食材を取り寄せている

「よかもん」 Yokamon

この贅沢が「当たり前」です。

「熊本を離れてみて、どれほど恵まれた環境で暮らしていたか気づいた」との声をよく聞きます。豊富な地下水、良質な温泉。さらに近年注目される歴史的遺産や祭りの数々。そんな「よかもん」をちょっとだけご紹介しします。



ミネラルウォーター

くまもとの水



魚も形態も多種多様な温泉さんま

熊本は環境省選定の「名水百選」及び「平成の名水百選」の水源・湧水群を8つも保有する、日本一の名水地。熊本市を中心とする熊本地域は、水道水源のほぼ100%を地下水で賄っている全国でも稀な地域です(全国平均は約20%)。



センパイ移住者 voice

私の「よかもん」

人吉温泉

ベーカリー店「ボボロ」オーナー
宮田 実さん(40歳)
(人吉市)
千葉県から2013年に移住
4人家族(妻、子ども2人)



県内118カ所に温泉が点在、銭湯として利用する地域もあり、同じエリアでも異なる泉質などが楽しめます。

センパイ移住者 voice

私の「よかもん」 球磨川

ラフティング会社「Reborn」経営
溝口隼平さん(36歳)
(八代市)
愛知県から2010年に移住
4人家族(妻、子ども2人)



「良い川で遊びたい」が原動力

故郷で砂防ダムを越える土石流が発生し、遺品を探すボランティアに参加。これを機に研究者となり、ダム撤去問題に関わってきました。荒瀬ダム撤去が議論されていた八代へ勤務先の愛知から通い、国内初の撤去が決まるとダム下流へ移住。青のり漁師や土木作業員など様々な仕事で頑張ったのも、川と地域が再生していく姿を見守りたいとの強い思いがあったからです。春には6年に及んだ撤去が完了し、嬉しい変化といえば水質改善はもちろん川に人が戻ったこと。漁師や川で遊ぶ人を見つけたときは感動しました。「美しい川を取り戻す価値」を感じてもらえればとラフティング事業を開始。今後は力を合わせて遠慮化が進むこの地域を再生したいです。

地元の資源を本職に生かす!

東京のホテルベーカリーで働いた後、妻の実家がある人吉市へ移住。地元のパン屋で2年働き、独立しました。店の大家さんから「ウチに湧く温泉水を使ってみたら」と提案をいただき、試してみるとやわらかくて素材の生きた味に。今では温泉水を使った食パンが一番人気です。



くまもとの遺産

明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼・造船・石炭産業 世界文化遺産

2015年に世界文化遺産に登録。23の資産で構成され、熊本県には万田坑、三角西港があります。

万田坑 (京尾市)



明治期の炭鉱施設として探検から出炭までの一連の施設が残る、我が国の近代化を知る上で欠かすことのできない遺産です。

三角西港 (宇城市)

1887年、明治政府の政策に基づきオランダ人水理工師・ムルドルが設計。かつて、三池炭鉱から運ばれてきた石炭の積み出しが行われ、今も築港当時の姿を見ることが出来ます。



阿蘇 世界農業遺産・ユネスコ世界ジオパーク



世界最大級のカルデラ地形を有し、中岳火口など地球の息吹を間近に感じることが出来る地域。後世に継承すべき「草原景観」や「阿蘇の農耕祭事」などの保全と持続的活用が図られています。

人吉球磨のストーリー 日本遺産

熊本県の「日本遺産」第1号。鎌倉時代から相良氏が統治した700年の歴史を基軸に、「国宝・青井阿蘇神社」や「おくんち祭り」などの貴重な文化財群が残っています。



菊池川流域のストーリー 日本遺産



菊池川流域(玉名市・山鹿市・菊池市・和木町)で描く二千年にわたる米作りのストーリーが2017年認定。米作りを支えた先人たちによる景観、芸能・食文化に出合えます。



センパイ移住者 voice

私の「よかもん」

来民うちわ

来民うちわ職人、「栗川商店」に勤務
堤 大介さん(37歳)
(山鹿市)
2017年に県内移住
3人家族(妻、子ども1人)



伝統の技を受け継ぐ!

手先の器用さを買われて社長に声を掛けていただき、職人の道へ進みました。和紙の表面に柿渋を塗る山鹿市の伝統工芸品「来民うちわ」は、丈夫で長持ちすることから長寿や誕生祝いのお慶賀向けに喜ばれています。修業を始めて2年目ですが、作業したものが製品として店に並ぶのは感動もひとしお。伝統文化に携われることを光榮に思います。

くまもとのまつり

みずあかり (熊本市)

「竹・火・水・ろうそく」といった熊本の資源を活かした灯りの祭典。秋夜の2日間、熊本城周辺に約5万4千個のろうそくが灯ります。2016年には「日本夜景遺産」に認定。



八代妙見祭 (八代市)



八代地方最大の祭礼行事でユネスコ無形文化遺産に登録。フィナーレでは「ガム」の愛称で親しまる亀蛇(きた)が水しぶきを上げて河原を走りまわる姿が迫力満点です。

山鹿灯籠まつり (山鹿市)

2日間に渡って行われる夏祭り。なかでも和紙製の金灯籠を頭にのせた女性たちが舞い踊る「千人灯籠踊り」は正巻で、幾重にも連なる灯りの輪が幻想的な世界へ誘います。



「うまかもん」

Umakamon



世界最大級のカルデラを有する阿蘇、美しい島々からなる天草。九州山地に源を発する菊池川、球磨川などの一級河川や豊富な地下水。こうした自然の恵みを背景に、米や野菜、果樹、畜産、水産物といった多彩な「うまかもん」が育まれ、豊かな食文化へと繋がってきました。

生産量日本一

全国シェア
18.6%



トマト

冬～春は八代・玉名・宇城、夏～秋は熊本・阿蘇・上益城がおもな産地です。高い糖度を誇る「塩トマト」は、土壌特性を生かしたごく一部の八代地域でハウス栽培しています。

すいか

生産量のみならず出荷の早さも日本一。5月にピークを迎える。熊本では皮の白い部分を塩で漬物にする食べ方も。薄皮で糖度が高い小玉すいかも人気。



全国シェア
15.6%

不知火(デコポン)

「不知火」の中でも厳しい基準をクリアしたもののだけが「柑橙の玉座」と呼ばれるデコポンに。宇城、芦北、天草が主な産地で、贈答用にも人気。



熊本特産が「オシイ思いました!」

熊本は食材が日本一豊富で美味しいんじゃないでしょうか。魚、肉、野菜、米、果物まですべて地元産でまかなえてしまい、東京だと高級品扱いされるものが驚くほど安い。仕事仲間から「あの荷台に置いてくよ」とトマトやお米をいただくのは日常茶飯事です。

(1さん30代、東京都から移住)

(Tさん40代、東京都から移住)

あか牛

和牛の4品種の一つである熊本和種(あかげわしゅ)を、熊本県内では親しみを込めて「あか牛」と呼んでいます。赤身が柔らかく、しっかりとした味わい。余分な脂肪が少ないヘルシーな牛肉です。



だご汁

小麦粉と水を糊して作る「だご」(団子)と里芋や椎茸、人参などの野菜を煮込んで味噌や醤油で味つけた汁物。家庭や店ごとに味わいが異なるのも特徴。

ふりかけ

熊本の養殖師がカルシウム不足を解消するため、魚を骨ごと粉末にした食品を考案。これが「ふりかけの元祖『御飯の友』」で、発祥の地・熊本では「全国ふりかけグランプリ」を開催。



辛子レンコン

生米が腐った熊本藩主細川忠利が蓮根を食べよう勧められ、蓮根の穴に和辛子粉を混ぜた味噌汁を詰め、衣をつけて菜種油で揚げたのがはじまり。

タイピーエン

日本風にアレンジされた中国料理で、学校給食のメニューにあることから熊本で定番。春巻、エビ、イカ、豚肉、白菜、キクラゲなどが入ったヘルシー麺として注目されています。



いきなり団子

輪切りにしたサツマイモと餅を餅や小麦粉を使った生地で包んで蒸した熊本県の郷土菓子。いきなり作れるという意味、来客がいきなり来ていきなり出せるという意味も。

センパイ移住者のうまかもんLIFE

地域おこし協力隊
前島 起さん(36歳)
『荒木いちご農園』勤務
都さん(31歳)
(菊池市)
神奈川県から2016年に移住
2人家族



ワイン会を通じて地元の人と食を繋ぐ

六本木ヒルズのワイン専門店に勤務していた起さんと、カフェで料理の腕をふるっていた都さん。そんなふたりが前職の経験を生かして始めたのがワイン会です。プロの目で見立てた10種類以上のワインと菊池食材づくりのプレートを楽しむイベントで「菊池にこれだけ豊富な特産があったなんて」と参加した地元住民が驚くほど。「地元の方の社交場となっている。今後は食べる人と生産者を結ぶイベントに発展できれば」と都さん。地元食材に魅了されたふたりの企てが、地域の新たな繋がりを育んでいました。



センパイ移住者のうまかもんLIFE

炭素循環農業を行う
『クルノノウエン』、
カフェ「アルパロ」を運営
茅畑孝富さん(43歳)
(荒尾市)
広島県から2009年に移住
4人家族(妻、子ども2人)



センパイ移住者のうまかもんLIFE

有機野菜農家、「こぼやし農園」を営む
小林貞人さん(45歳)
(球磨郡山江村)
大阪府から2015年に移住
3人家族(妻、子ども1人)



「要らないモノ」が栄養に。大地と寄り添う野菜作り

妻の出身地へ移住し、「アレルギーを持つ我が子が食べられるものを作ろう」と無農薬、無肥料、無防虫の炭素循環農法に取り組み始めた茅畑さん。「微生物が生きやすい環境を作るために用いるのが間伐材や生ゴミといった産業廃棄物扱いされるもの。微生物を観察し、おまけに美味しい野菜が出来る感覚です。野菜は活性度が高く、日持ちするうえ時間が経つにつれて味も良くなるそう。飲食店へ卸すほか農園に隣接するカフェでオーガニック料理として提供しています。

野菜を食べたときの感動が忘れられず

24年暮らした大阪を離れて山江村へ。「1人で暮らす義母が心配だったことが理由ですが、せつかつなら環境に順応して働くことと農業を始めることにしました」。以前、山江村から取り寄せたキュウリとトマトを食べたときの感動が記憶に残っていました。農業研修に参加したものの、害虫や猛暑などで就農1年目は野菜の8割が失敗。反省をふまえた現在は季節野菜を30種類ほど育てています。「システムエンジニアの頃と比べて心と体の健康を実感しています」

「しあわせもん」

熊本県民にとって、九州の中心という立地の良さや豊かな自然、世話好きが多い県民性など、幸福を感じるポイントは人それぞれ。移住した方々に話を聞くと「地域の輪に飛び込み、人や町を好きになる」ことが「しあわせもん」になる秘訣のようです。

県民総幸福量 -AKH-

「幸せを実感できるくまもと」を目指す熊本県では、その要因を「経済的な安定」、「将来に不安がない」などに分類して指標化。「県民総幸福量」=AKH（「熊本の幸福を集計する」の意味）と名付け、AKHの最大化に取り組んでいます。



4人に3人が幸福を実感！「AKH」って？

Shiawasemon



アジア・九州各県へ
振替のアクセス、
事業展開に最適な
企業立地



仕事 -WORK-

半導体や自動車関連企業が多く立地する九州は「シリコンアイランド」、「カーアイランド」と呼ばれ、九州の中央に位置する熊本には多くの企業が集積。韓国、台湾、中国など近隣国へのビジネス展開が可能のため、海外で展開する農業法人や飲食店が多いことも特徴といえます。

熊本県の主な立地企業

- アイシン九州
- アクセンチュア 熊本BPOセンター
- サントリー九州熊本工場
- ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング 熊本テクノロジーセンター
- 東京エレクトロン九州
- 日立造船 有明工場
- 富士フイルム九州
- 本田技研工業 熊本製作所 など

町に恩返しできて「しあわせもん」

熊本生まれ、東京育ち。東日本大震災で母親と熊本のホテルへ避難した際、人の温かさを感じ、「熊本に一生住みたい」と実感したそう。そんな三浦さんが暮らすのは城下町界隈。「町に恩返ししたい」と観光客へ町を案内する「くまもと古町案内人」として活動しています。ほかにもオシャレで機能的なふんどしや市着袴を作って販売したり、日替わりで飲食店の接客をこなしたりと様々な顔を持ちます。「最初の印象は“この辺にいない人”。それが今では熊本弁を見事に使いこなして(笑)。町に馴染みたいとの思いが伝わってきました」と振り返る、案内人仲間の平野さん。三浦さんは「活動を通して町の魅力を伝えたいです」と笑顔で語ってくれました。

和小物作家、接客業、くまもと古町案内人
三浦瑠璃さん(32歳)
(熊本市)
東京都から2011年に移住
2人家族(母)



仲間ができて「しあわせもん」

有機野菜農場
「YASKI FARM」運営
鳥越靖基さん(39歳)
(上益城郡山都町)
東京都から2011年に移住
3人家族(妻・子ども)



「東京で音楽活動をしていましたが、東日本大震災で無力さを実感しました」と鳥越さん。「食べ物を作る側になる」と九州における有機農業発祥の地・山都町へバンド仲間と共に移住しました。農業経験がないため途方に暮れる日も。そんなとき力を貸してくれたのが近所の人たちでした。「地域活性化を目指す塾の仲間と定期的に意見交換をするようになり、熊本地震では共に炊き出しを行い、絆が強くなりました。そんな仲間たちと株式会社「山都でしか」を立ち上げ、レストランバスツアーなど「山都でしかできない価値」を形にしています。「強い意志と仲間がいれば大丈夫。農業に興味のある若者や移住希望者を支援しつつ、生活を“開墾”したいです」

「山都でしか」の仲間たちと、町の資源を活かした事業に取り組んでいます



「YASKI BAND」の音楽活動も再開、地元での祭りやイベントの演奏で喜ばれています



(左から)移住生活をサポートしてきた八田さん、鳥越さん、バンド仲間と共に農業を営む岸さん

子育て環境に恵まれて「しあわせもん」

高校教師
繁村 卓さん(41歳)
(八代郡水川町)
2010年に移住

「子どものためにも拠点を作りたくて、妻の故郷に近くて土地が安いこと、熊本市内へ行きやすいことで決めました」と氷川町に一戸建てを構えた繁村さん。宮崎県出身で食品専門の高校教師となり、初めて赴任した八代に良い印象があったそう。暮らし始めると人の温かさや住みやすさも当時の印象通りでした。「地域のイベントへ参加するうちに家族ぐるみの繋がりが増えて、子どもたちは地域のスポーツクラブに参加し、年齢を超えた交流が生まれています」と奥さま。子育て環境が充実していることもあり、親生間近の新しい家族を心待ちにしています。



備えあれば
憂いなし!

「くまもと暮らし」までのステップ

生活環境が大きく変化する移住。思い描いたライフスタイルを実現するには、しっかりと準備しておくことが大切です。
「まず何から始めたらいいの?」そんな方のために、基本となる移住のステップをご紹介します。



STEP 1 移住後のビジョンを明確に持とう

移住しよう!

何のために移住し、どんな暮らしを望むかハッキリさせると住む場所や家、仕事の選び方が見えてきます。家族で話し合って意思を統一し、全員が納得したうえで移住計画を立てましょう。移住後は期待通りの収入が得られないことも考えられるので、移住資金も余裕を持って。



STEP 2 情報を集めよう

候補地を絞り込んだら気候や生活環境、子育て支援、医療施設の場所など具体的な情報を集めましょう。自分自身で情報の真偽を確かめることが大切です。

●熊本県移住・定住ポータルサイトをチェック

熊本 移住 検索



※市町村情報、移住フェア、相談会開催情報などを掲載

- 移住相談窓口相談する
- 各市町村から移住関連の資料をもらう



農業が盛んなんだね!

候補地を下見して情報集めたい!

STEP 3 候補地を下見しよう

移住候補地が決まったら、暮らすことをイメージして現地の下見を。市役所や役場などで空き家や地域の情報などを収集。移住に向けた情報交換会やツアーを開催する市町村もあるので、活用してみるのもおすすめです。



STEP 6 くまもと暮らしをはじめよう

いよいよ熊本での暮らしがスタート! 市町村によっては移住支援策がありますので、上手に活用しましょう。ただし、制度は一時的なものが多いのが現実。自立することが大前提です。

STEP 7 地域の仲間入りをしよう

田舎暮らしでは、地域との繋がりが鍵に。大事なルールを知ることができ、頼りになる人脈を得られます。祭りや地域行事、「区役」と呼ばれる住民活動、消防団など積極的に参加しましょう。率先してあいさつすればスムーズに溶け込めますよ。



STEP 5 住まいを決めよう

移住までしようかな!

住居は不動産業者や市町村の「空き家バンク」で条件に合う物件を探すほか、公営住宅や定住促進住宅などは市町村窓口へ相談をしてみましょう。市町村によってはさまざまな支援を行っていることがあります。

●熊本県移住・定住ポータルサイトには、各市町村の支援制度に関する情報を掲載しています。



STEP 4 仕事を決めよう

住居の確保には仕事が決まっていることが条件の場合もあるので、移住前に仕事を決めておくことスムーズです。移住後に仕事を探す場合、当面の生活費を準備して。起業する場合は地域性など具体的な情報収集を行なって準備しましょう。

●『熊本県Uターン就職支援センター』のアドバイザーによる就職相談などを活用(窓口は東京・熊本)

http://kuma-turn.jp 熊本ターンセンター 検索

- ハローワーク情報をチェック
- 起業や就農の相談は各窓口



住居探しは早いです!



「市町村へ」来てよかった!

自分らしい働き方を見つけよう!

移住を決めたら、収入を確保することも大事な要素。

これまでに得た経験や資格を生かすか、得意分野や興味のある分野に飛び込んでみるか。

様々なサポートを利用して、まずは情報収集してみましょう。

あなたに合う働き方をチェック!

安定した給料と 福利厚生を 確保したい	経営に興味がある、 自分の力を 試したい	植物が好き、 自然と向き合う 仕事に興味がある	山や海が好き、 体を動かす 仕事がしたい	医療や福祉で 人の役に 立ちたい
それなら	それなら	それなら	それなら	それなら
企業に就職 →15~18Pをチェック	起業 →19~20Pをチェック	就農 →21~22Pをチェック	林業・漁業 →23Pをチェック	医療・福祉 →24Pをチェック



企業に就職する

「即戦力として培った知識やスキルを生かしたい」。熊本にはあなたのキャリアを存分に発揮できる様々な企業があります。



熊本県UIJターン就職支援センター

くま 愛称:熊ターンセンター

熊ターンセンターでは、熊本で働きたい
県外在住の方をお手伝いしています。

登録
利用料
無料

西日本在住の方

熊本県UIJターン就職支援センター
熊本窓口

熊本市中央区水道町8-6 朝日生命熊本ビル1階
くまジョブ 熊本県しごと相談支援センター内
【利用時間】
月～金曜/10:00～19:00(土曜は10:00～17:00)
(日曜、祝日、年末年始は休業)
☎0120-827-867(フリーダイヤル)
FAX:096-328-5801
Email:info@kuma-turn.jp

いずれかの窓口にご相談を



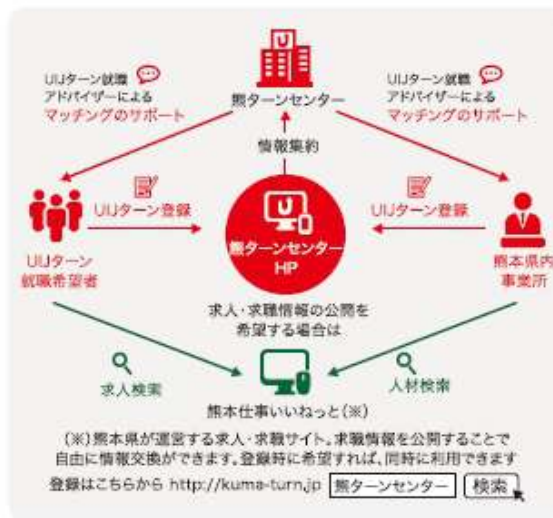
東日本在住の方

熊本県UIJターン就職支援センター
東京窓口

東京都千代田区有楽町2丁目10-1 東京交通会館8階
ふるさと回帰支援センター内
【利用時間】
火曜～日曜/10:00～18:00
(月曜、祝日、盆、年末年始は休業)
☎090-1657-8412
FAX:03-6273-4404
Email:info@kuma-turn.jp

STEP 2 熊ターンセンターの利用登録 (UIJターン登録)をしよう

- ▶希望にマッチした熊本県内企業の情報を提供してもらえます
- ▶就職を希望するあなたの情報が熊本県内企業へ提供されます(希望者のみ)
- ▶応募書類作成のアドバイスや面接のトレーニングを無料で受けられます



STEP 3 情報を集めよう

就職情報は鮮度が一番。UIJターン登録をすると、熊本県内企業の就職活動に役立つ最新情報を提供してもらえます。

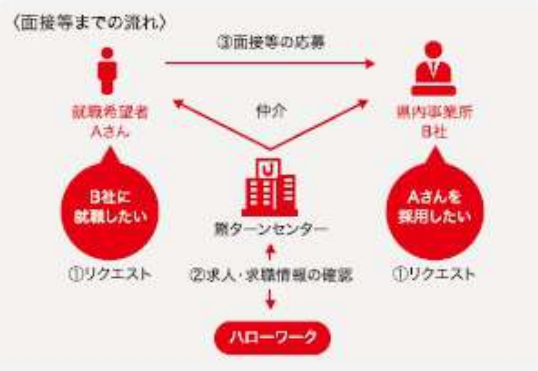


- ▶熊本県の地域情報
- ▶熊本県内の企業情報
- ▶UIJターンに関する各種イベントやセミナーの情報



STEP 4 面接等のリクエストをしよう

UIJターン就職アドバイザーが仲介役。あなたが応募したい企業へのリクエスト、企業からあなたを採用したいとのリクエストを繋いでもらえます(電話、メール、面談いずれもOK)。



STEP 5 応募をサポートしてもらおう

希望に応じてアドバイザーが応募書類の書き方のアドバイスや面接のトレーニングなどを無料で行ってくれます。

STEP 6 結果を報告しよう

面接後は結果をアドバイザーへ報告しましょう。UIJターン登録の有効期限は概ね2年ですので、その間に生活事情等の変化に伴い登録取り消しをする場合も、アドバイザーまで連絡を。

STEP 7 就職後もフォローアップ

就職決定後に住まい等の支援が必要な場合、内容に応じて適切な支援機関へ繋いでもらえます。

企業に**就職**する

「現職でも、まず登録を。要望や自分の強みを明確に」



UIJターン就職アドバイザー

ご相談者に確認するのは「就職を急ぐか」です。現職でも登録しただけです。移住を急がれる方は熊ターンセンターへ登録することをお勧めします。登録時には職歴、希望条件、資格・免許、アピールポイントをしっかり書き込むこと。記入内容が企業へ伝わりますから直接アピールするつもりで作成しましょう。若い方の場合、学生時代に部活で主将やマネージャーをした経験など企業から高い評価を得られます。年配の方は厳しい言い方をすると「甘い考えを捨てること」と、とくに大手企業にお勧めです。所得の違いは心して。そのぶん熊本は物価が安く、美味しい水も手に入ります。登録と同時に履歴書や職務経歴書を作成し、いつでも動ける準備を。熊本には有望な企業が多く、東京や熊本の窓口へお越しいただけるとより深く面談でき、マッチングできそうな企業へ推薦できます。UIJターン就職アドバイザーがあなたの就職をしっかりサポートしますので、気軽に相談ください。

就職サポートの
プロから
アドバイス



「就職」した
センパイ移住者に
聞いてみよう!

「農業総合研究所」へ就職
小西弘晃さん(29歳)
(熊本市)
福岡県から2017年に移住
4人家族(父・母・姉)※兄は県外在住



「熊本地震がきっかけで
故郷の良さを再認識しました」

高校生まで熊本で過ごした私は、福岡の大学に進学しました。卒業後は縁あって福岡の病院の事務職に就いたのですが、もともと地元熊本が好きで「いつかは故郷熊本で暮らしたい」との思いがありました。そんな中で起きた2016年の熊本地震。益城町の実家は大規模半壊し、家族は現在も仮設住宅に住んでいます。このことがきっかけとなり、「もう一度、益城で家族と一緒に暮らしたい。家の再建をしたい」との思いから6年働いた前職を辞め、熊本へ帰る決断をしました。熊本での就職はインターネットで検索し、「熊本県UIJターン就職支援センター」「ジョブカフェ・ランチ」「熊本市UIJターンサポートデスク」(P33)に登録。他の求人サイトと比べて実際に担当の方と相談しながら活動ができるの

で、色々なことを深く話せて良かったです。就職したのは予想もしていなかった野菜を扱う仕事で、熊本市北区植木町にある葉荷場で生産者さんが持ち込んだ農作物を全国に発送。初めてのことでただですが、先輩の指導のもとで順調に仕事を進めることができ、新鮮な出会いがあって毎日楽しく過ごしています。普段は母方の祖父宅から仕事へ通い、週末は仮設住宅で家族と過ごす日々。気持ちにゆとりを持てるようになりました。これからUIJターンのいずれかで熊本での就職を考えている方へのアドバイスとしては、考えるだけでなく行動に移すこと。新しい出会いや世界が広がります。熊本に帰って来て、改めて水や食べ物の美味しさ、自然の豊かさを素晴らしいと思いました。熊本、おすすめです!

ジョブカフェ・ランチ



若い人を中心にシルバー世代や障がいがある方などの仕事探しをお手伝い

何をしてくれるの?

- ▶就職に関するさまざまな相談(電話やメール、保護者からの相談も可)
- ▶就職活動に役立つセミナーを少人数制で毎月開催
- ▶採用予定のある企業の企業説明会を単独又は数社共同で開催
- ▶履歴書や職務経歴書等作成のアドバイス
- ▶面接の練習や対策をサポート
- ▶適性診断の実施
- ▶ハローワークの求人情報を活用した紹介状の交付

どんな人が利用できるの?

- ▶就職を希望される方であれば誰でも利用できます。



ジョブカフェくまもと

☎096-382-5451
熊本市中央区水前寺1丁目4-1 水前寺駅ビル2階
<https://www.jobcafe-kumamoto.com>
利用時間(予約制)
月~金曜(祝日は休み)
8:30~17:15
利用対象者:おおよそ35歳未満の方(学生を含む)

ほか県内10カ所に窓口があります

五名ランチ/熊本ランチ/菊池ランチ/阿蘇ランチ/上益城ランチ/宇城ランチ/芦北ランチ/球磨ランチ/天草ランチ/ジョブカフェつしる

利用時間(予約制)
月~金曜(祝日、年末年始は休み)
10:00~17:00
(ジョブカフェつしるは9:00~17:00)

問い合わせ ☎096-333-2340
(熊本県 労働雇用創生課)



働く人が“輝く”
「ブライト企業」で働こう!

熊本県は、働く人がいきいきと輝き、安心して働き続けられる企業を「ブライト企業」(ブラック企業と対極の企業をイメージした造語)として認定しています。現在、熊本県内にある288事業所がブライト企業に認定(平成30年度時点)。UIJターン就職支援センターには求人募集しているブライト企業の情報もあるので、詳しくは同センターへ確認を。

ブライト企業専門サイト
https://furusato-shigotone.jp/site_bright_companies



SYSKEN



合志技研工業

【基本的な要件】

- ▶従業員とその家族の満足度が高い
- ▶地域の雇用を大切にしている
- ▶地域社会・地域経済への貢献度が高い
- ▶安定した経営を行っている



ハローワーク(国の就職相談窓口)

全国のハローワークや他の付属施設で集めた求人をもとに、仕事の紹介を行っています。

- STEP1 自己分析・労働市場分析
- STEP2 条件決定
- STEP3 求人を探す
- STEP4 応募準備
- STEP5 応募

さらにホームページでは、全国のハローワークが受理した求人情報のうち、ホームページへの掲載を希望している企業の求人を検索できます(毎日更新)。また求職登録をすると、閲覧できる情報が増えます。

ハローワーク インターネットサービス
<https://www.hellowork.go.jp/>

《熊本県内のハローワーク所在地一覧》

月~金曜 8:30~17:15(土・日曜、祝日、年末年始は休み)

- 熊本 熊本市中央区大江6-1-38 ☎096-371-8609
- 上益城出張所 上益城郡御船町近辺395 ☎096-282-0077
- 八代 八代市清水町1-34 ☎0965-31-8609
- 菊池 菊池市藤野771-1 ☎0968-24-8609
- 玉名 玉名市中1334-2 ☎0968-72-8609
- 天草 天草市丸尾町16-48 ☎0969-22-8609
- 球磨 人吉市下藤瀬町1602-1 ☎0966-24-8609
- 宇城 宇城市松橋町松橋266 ☎0964-32-8609
- 阿蘇 阿蘇市一の宮町宮地2318-3 ☎0967-22-8609
- 水俣 水俣市八幡町3-2-1 ☎0966-62-8609

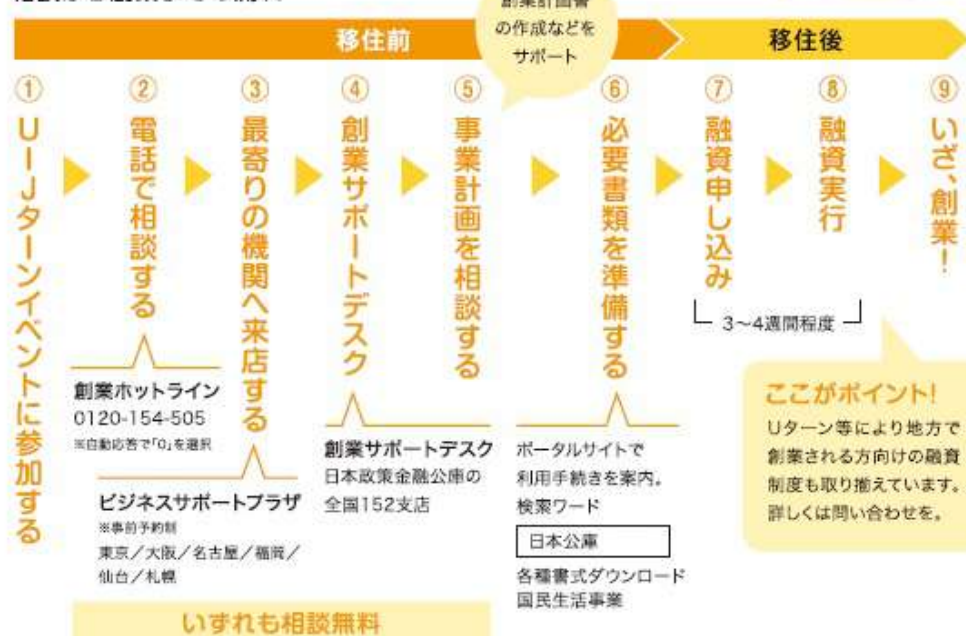
やりたいことで **起業** する

資格や得意分野、興味のあることを生かして起業する。或いは時間や場所にとらわれないSOHOという働き方も注目されています。新しい土地、新しい発想で、「起業」を考えてみませんか？

「資金」が必要な起業を考えているなら、まずは金融機関や各地域の商工会議所、商工会、熊本県信用保証協会などにご相談ください。

たとえば **日本政策金融公庫** の場合

相談から創業までの流れ



いずれも相談無料

「100%政府出資」の政策金融機関
小口・無担保・無保証人融資(※1)で創業をサポート

「日本政策金融公庫」は、100%政府出資の政策金融機関。全国152支店のネットワークを活かした商談会、マッチング、関係団体との連携による支援を行っています。創業で気になるのが資金調達のことですが、こちらでは「小口融資」、「無担保融資」(利用割合は約83%、※1)、「無保証人融資」を主体に、業種に偏らず融資を行ってくれるのが大きな強み。

(※1)融資適用には一定の条件があります。詳しくは問い合わせを



- ▶ 相談者の情報を支店間で共有しているため、移住先でも引き継ぎがスムーズ
- ▶ 創業以降に相談できる連携支援機関(税理士、地域金融機関、商工会議所、商工会など)への紹介が可能

創業動機は明確ですか？

起業する事業について経験や知識はありますか？

事業を継続していく自信はありますか？

家族の理解はありますか？



「起業」したセンパイ移住者に聞いてみよう!

「ふぁくとりー Nolly(ノリー)」代表 簡井永英さん(33歳)
(天草市)移住川島から2016年に移住 4人家族(夫・子ども2人)



「金融公庫へ相談。ベーグル&マフィンで地域を元気に」

東日本大震災を経験し、都会はお金があっても非常時に食べ物を十分に入手できない暮らしに危機感を抱きました。小豆島へ移住して農業を学び、農地を探したところ緑あふれる夫が天草のデコポン農園を引き継ぐことに。私は起業への思いがあり、女性や若年者だと十分な融資を受けることが難しいのですが、『日本政策金融公庫』は低金利で融資してもらえると知って、相談会へ通い、受けた融資を備品調達や自宅加工所の費用に。さらにクラウドファンディングも利用し、2017年12月に起業。地元食材を使ったベーグルとマフィンを製造販売しています。食材は主人が作る柑橘類のほか、ご近所さんから野菜を調達。この事業を通じて地域経済へわずかも貢献し、さらに高齢の方にやり甲斐を感じてもらい、地元が元気でいられるよう願っています。

東京ビジネスサポートプラザ 大阪ビジネスサポートプラザ

「移住前」に経験豊富な専門スタッフへじっくり相談するなら

(こんな相談に対応)

- ▶ 移住先の地域情報
- ▶ 事業を始める前に準備すること
- ▶ 融資制度の紹介
- ▶ 移住先での支援機関の紹介
- ▶ 移住して起業した人の事例紹介 など

相談無料、事前予約制。

東京都新宿区西新宿1-14-9 新宿支店4F ☎03-3342-3831
大阪府大阪市北区府根橋2-3-5 梅田第一生命ビルディング7F ☎06-6315-0312
(名古屋/福岡/仙台/札幌にも窓口あり)

創業サポートデスク

ビジネスプランや創業の準備段階に
応じて的確にサポート。

(ほかにも、こんな相談に対応)

- ▶ 自分のアイデアを聞いてもらいたい
- ▶ 事業計画の立て方を知りたい
- ▶ どんな顧客をターゲットにすればいい?
- ▶ 創業にはどんな資格や許認可が必要?
- ▶ 公庫の融資制度など資金調達の方法を相談したい など

(熊本県内の問い合わせ先)平日9:00~17:00

日本政策金融公庫
熊本支店(創業サポートデスク) ☎096-353-6121
熊本中央区安政町4-22
八代支店(創業サポートデスク) ☎0965-32-5195
八代市出町4-17

熊本県の各市町村でも起業支援を行っています!

相談窓口の設置や奨励金支給、ほかにも創業に伴う店舗の内装や外装工事、機械器具・備品調達に係る経費の一部補助など。実施市町村は32ページの「市町村別支援施策早見表」で確認できますので、詳しくは直接問い合わせを。

そのほかの起業支援

森都心ビジネス支援センター

創業希望者の早期独立を支援

創業を志す人や創業後1年以内の人が入居できる「創業支援室」を設け、中小企業診断士等の専門家による助言や定期的な勉強会に参加できるなど早期独立を応援。

☎096-355-7402
熊本市西区春日1-14-1
開館 9:30~20:00
(日曜、夜日は~18:00)
休館 第3水曜、12/29~1/3



熊本で就農する

豊かな自然と高い技術によって、生産量日本一を誇る数々の農産物が栽培されている熊本県。安心・安全に対する高い意識をもち切迫感を感じる生産者の仲間となって、活躍しませんか。

【熊本の農業って?】

熊本県は、平坦地から高冷地まで恵まれた立地条件を活かして、水稻やトマト、すいか、なす、いちご等の「野菜」、みかん、なし、くり等の「果樹」、肉用牛、酪農、養豚等の「畜産」、いぐさ、たばこ、茶などの「工芸作物」、宿根カスミソウ、トルコギキョウ等の「花き」と、多彩な農業を展開する全国屈指の農業県です。

データで分かる「農業県・くまもと」

▼農業の主な担い手である「認定農業者数」

全国第3位

(平成30年3月末)

※「基幹的農業従事者数」は全国第5位 (平成28年)

▼約12万haの農地で産出される「農業産出額」

全国第6位

(平成29年)

▼農業を生活基盤にできる「生産農業所得」

全国第6位

(平成29年)

【相談窓口】

熊本県新規就農支援センターは、(公財)熊本県農業公社と(一社)熊本県農業会議が連携して新規就農相談のためワンストップサービスを行なっています。個別面談はもちろん、電話、メールでも随時相談をお受けしています。お気軽にご相談下さい。

(電話相談)熊本県新規就農支援センター
(公財)熊本県農業公社 ☎096-385-2679
(一社)熊本県農業会議 ☎096-384-3333

新たに農業を始める人へ、こんな融資も
青年等就農資金

認定新規就農者(市町村から青年等就農計画の認定を受けた個人・法人)を対象に、「実質的な無担保・無保証人」で「無利子」の資金を融資する制度です。
※限度額3,700万円(特認1億円)、返済期間12年以内(うち据置期間5年以内)
問い合わせ 日本政策金融公庫 熊本支店 ☎096-353-3104(農林水産事業)

【就農までのステップ】

STEP 1 情報を収集しましょう!

「農地がない」「就農地が決まっていない」「作目が決まっていない」。それなら、まずは自分に合った情報収集をしましょう。東京、大阪等で開催の「新・農業人フェア」、熊本県新規就農支援センター主催の「就農・就業相談会」や熊本県主催の「くまもと移住相談会」等へ参加してみませんか。きっとためになる情報が入手できます。また直接、熊本県新規就農支援センターにお問い合わせいただいても結構です。

インターネット(<http://www.kuma-farm.jp/>)からのメール相談も受け付けています。

【インターネットから】

<就農相談会>熊本県新規就農支援センターHP
<http://www.kuma-farm.jp/> →「イベント情報」
<移住相談会>熊本県移住・定住ポータルサイト



熊本 移住 検索



収穫量全国トップクラスの主要農産物

- いぐさ
- 宿根カスミソウ
- トルコギキョウ
- すいか
- トマト
- 不知火(デコポン)
- 温州みかん



STEP 2 農業を体験しましょう!

熊本県新規就農支援センター主催の「就農バスツアー」、全国農業会議所運営の「インターンシップ(農業体験)」を利用して現地の就農状況や農業環境を確認しましょう。(詳細は以下の熊本県新規就農支援センターHPを参照) ほかにも各地域で開催される市町村主催の「体験ツアー」や「見学ツアー」があります。興味のある方は熊本県移住・定住ポータルサイトで検索、または各市町村の窓口にお問い合わせみましょう。



※就農ツアー情報やインターンシップについては熊本県新規就農支援センターHP(<http://www.kuma-farm.jp/>) →トップ頁「イベント情報」、「研修のご案内」から

STEP 3 農業をやりたいと思ったら熊本県新規就農支援センターへ相談を

熊本県新規就農支援センターでは、農業支援制度や熊本県ならではの研修制度等を相談者と一緒に考え、具体的な就農までの道すじをご提示します。



【「研修」で技術と知識を習得】

熊本県には熊本県立農業大学校をはじめとする認定研修機関があり、先進農家である受入農家の方が研修生を受け入れています。県内の就農定着に向けて関係機関が連携を取っているため、研修先に関することもワンストップで熊本県新規就農支援センターへ相談できます。

【農業法人等への就業】

熊本県新規就農支援センターでは無料職業紹介所を設置。農業法人等への就職相談も受け付けています。



「就農」した
センパイ移住者に
聞いてみよう!

有機栽培農家
角心拓也さん(36歳)
(宇城市)
2015年就農
4人家族(妻・子ども2人)



「自信を持って提供できる“食”に携われることが誇りです」

仕事で長崎県にいた時に北九州市出身の妻と出会い、熊本で就農するために、ネット検索や就農相談会で情報収集。「NPO法人熊本県有機農業研究会」の受入農家である「肥後あゆみの会」で有機トマトの研修を1年間受けました。同会代表の自宅近くに移住し、サポートしていただきながら借り入れ農地や機械を確保。販売は同会にお任せしているので、生産に専念できています。移住して感じたのは地域密着の大切さ。農家仲間として認めてもらおうと懸命に仕事に励んでいると差し入れやアドバイスをいただきます。妻もご近所と積極的に交友を広げ、よい関係ができています。



肥後あゆみの会
代表・澤村さん

師匠の声

「基盤ができるまでは、と販路をサポートしています。彼は有機農業への思いが強く、奥さんもパートでうちへ通うほど熱心。就農2年目から軌道に乗り始めたのも夫婦二人三脚で頑張っている結果でしょう。有機栽培は病害虫対策など課題が多く、大変だからこそ楽しくもある。勉強会にも積極的に参加し、仲間として活躍してくれています」

まずは気軽に相談を!

林業で働く

森林を守り、育てるエキスパートを目指す

山地に囲まれた熊本県では林業が盛んです。地球温暖化防止に重要な役割を果たす森林を守る役割も、森林組合や民間企業へ就職して造林・間伐などの業務を身につけ、地域に定着してステップアップしていくのが一般的です。

STEP1 情報収集

- 林業就業相談会(森林の仕事ガイダンス)へ参加
- 就業支援・相談機関(公財)熊本県林業従事者育成基金)に相談

STEP2 林業体験

- 林業体験学習会(2日間)
- 林業就業支援講習(20日間程度)

STEP3 就職活動

- くまもと縣の新規就業支援講習(180日間程度)
- ▼林業就業の意思決定
就業支援・相談機関(公財)熊本県林業従事者育成基金
やハローワーク)へ相談

STEP4 森林組合や林業事業者等に就職

※就業後に研修あり(職の雇用事業等)

林業に就くまでの流れ



センパイ移住者に聞いてみよう!

「熊本林業」へ就職
青木 隆さん(35歳)
(阿蘇市)岩手県から2015年に移住
4人家族(妻・子ども2人)

バイクで日本一周する中、阿蘇へ滞在。植林アルバイトを経験して林業に興味を持ちました。バイト先の親方の勧めで長期研修を1年間受けた際、実地研修で県内の地域ごとに異なる仕事の進め方を学べたのは良い経験です。山奥は天気や環境が日々変わり、1日として同じ作業はありません。間伐して光が差し込む森の美しさを目にする、一層やる気が生まれます。

▼問い合わせ
熊本県林業労働力確保支援センター(公財)熊本県林業従事者育成基金)
☎096-340-1151 FAX096-340-1152
info@kuseikikin.net http://www.kuseikikin.net/

漁業で働く

五感をフルに動かし、大海と向き合う

漁業は単独で操業する「独立型」と親方に雇われる「雇用型」に大別。新規で漁業就業を希望する場合、県や各市町の水産担当課、水産研究センター、県漁業就業支援協議会(県漁連)等にお問い合わせすると、知識やスキルに応じた研修を受けられます。

【研修】

①就業前

県水産研究センターによる長期研修(実学・実践)を受けられます。
(研修の一部を漁協に委託)(相談先:県水産研究センター)

②就業後

県漁業就業支援協議会(県漁連)による長期研修、親方と雇用契約を締結した場合に受けられる支援です(給付は親方から支給)。(相談先:県漁業就業支援協議会(県漁連))

③フォローアップ研修

就業後5年未満を対象に、スキルアップのためのフォローアップ研修を受けられます。
(相談先:市町、県水産担当課)

【住居】

公営住宅等に空きがある場合、紹介してもらえる場合があります。
(相談先:市町)※すべての市町ではありません

【資金支援】

「研修」(1)就業前)では、45歳未満等の条件が合えば
(一社)全国漁業就業支援センターから研修期間中の
最低限の資金費支出支援を受けられる場合があります。

センパイ移住者に聞いてみよう!

タテウオ漁師
橋 俊之さん(40歳)
(芦北町)
岩手県から2013年に移住
妻と2人暮らし

東京で銀行員として働いていましたが一念発起。サイト「漁師.jp」で見つけた熊本県水産研究センターの「漁業就業確保長期研修」を受講しました。漁船に乗ることさえ初めてでしたが、芦北町での実地研修や座学で基礎を習得。研修後は先輩漁師さんに漁場へ連れて行ってもらう、天候の見方などを肌で学びました。県が支援する無利子ローンで漁船を購入し、独立から4年目。五感を使って自ら判断し、働くことは大変な反面、自信に繋がります。今後はフォローアップ研修で節約りを学び、活動の幅を広げたいです。

▼問い合わせ http://www.yosush.jp
熊本県漁業就業支援センター(熊本県 水産担当課) ☎096-333-2457
熊本県漁業就業支援協議会(熊本県漁連) ☎096-329-8800
熊本県水産研究センター ☎0964-56-5111

医療で働く

地域医療で活躍する

熊本県ドクターバンク

熊本県では「医師の無料職業仲介所」として「ドクターバンク」を開設。熊本県の地域医療に関する様々な情報を提供するとともに、希望に応じて県内の公的医療機関に紹介、就任までサポートしています。

▼問い合わせ
熊本県 医療政策課(ドクターバンク担当)
☎096-333-2204(8:30~17:15、土・日曜、祝日を除く)
iryosaisaku@pref.kumamoto.lg.jp

熊本県ナースセンター

熊本県からの委託により保健師、助産師、看護師、准看護師の方に就職先をご紹介します。求人情報の紹介だけでなく、看護職の現場経験をもつスタッフが親身に就職先探しをお手伝いする無料の職業紹介所です。看護職を目指す学生の方の進路相談も対応。

▼問い合わせ
熊本県ナースセンター(熊本看護職研修センター内)
☎096-365-7660(9:00~12:00/13:00~17:00、土・日曜、祝日を除く)
FAX 096-365-7640



センパイ移住者に聞いてみよう!

「天草市立製所診療所」勤務(所長)
古賀 義規さん(47歳)
福岡県から2015年、天草市へ単身赴任
7人家族(妻・子ども5人)

ドクターバンクへ在籍されている先生に「医師が不足する地域の診療所で働きたい」と相談したところ、こちらの診療所をご紹介いただきました。全国的に高齢化が進む中、既に高齢者が多い僻地では家庭医療の必要性がますます高まっています。現在は週一日をドクターバンクの事業に充て、同じ志を持つ医師の仲間作り力を入れています。

福祉で働く

たくさんの「笑顔」をサポートする

人材ニーズが一層高まる福祉・介護業界。熊本県福祉人材・研修センターでは県内在住者を中心に、福祉への就業を目指す方向へ無料で職業紹介・あっせんを行っています。さらに多様化するニーズに応えるため、人材の育成に向けた研修などを実施。社会福祉従事者の資質向上に努めています。



就職組合フェアの様子

【主なサポート】

- ▶福祉の職場への職業紹介・あっせん
- ▶保育士再就職コーディネーターによるガイダンス、児童福祉施設への就職支援等
- ▶福祉関係の合同説明会、就職講座、講習会の開催
- ▶貸金の貸し付け(福祉の資格取得を目指す学生への修学資金、介護職や保育士の再就職準備金、未就学児を持つ保育士への一部保育料等)
- ▶社会福祉施設などで働く人を対象にした研修

登録から就職までの流れ(求人の場合)

- ①登録・相談
福祉の仕事や資格の取得方法などの相談に応じます。求人情報の提供や紹介・あっせんを希望する場合、求職登録が必要です。
- ②求人情報の閲覧
センターで受け付けられた求人を全て閲覧できます。
- ③紹介・あっせん
条件に合った求人が見つければ、同センターが求人先と面接日などを調整し、紹介状を発行します。
▼業者(面接など)
- ④採否の決定
採否が決定したらセンターへ報告します。

求人が無い場合、以下サイト「福祉のお仕事」から求人やイベント等の情報収集。また、介護福祉士、保育士など資格を有する方は届出制度の届出ができます。
「福祉のお仕事」ホームページ <https://www.fukushi-work.jp/>

▼問い合わせ
熊本県福祉人材・研修センター(熊本県社会福祉協議会)
☎096-322-8077(9:00~17:00、土・日曜、祝日を除く) FAX096-324-5464

心強い住宅支援制度

生活の基盤となる 住まいを決めよう!

居住地や住宅を決めるとき参考にしたい、各市町村のおもな支援策の一部をご紹介します。

※支援制度の実施市町村一覧は32Pをご覧ください。(情報は平成31年4月現在のもの)

※例示してある市町村以外でも実施しています。詳しくは各市町村へ確認を。



空き家・空き地を探す

〈空き家バンク(買う・借りる)〉

「空き家バンク制度」がある市町村では、空き家や空き地情報を提供しています。利用登録し、要件を満たした場合、リフォームや購入、引越、家賃などにかかった費用の一部を補助する制度もあります。

家を買う・建てる

〈宅地分譲〉

たとえば

津奈木町では、役場裏に「さくら団地」49区画を分譲中。町分譲地を購入し新築工事等を町内業者が施工した場合は上限70万円を助成。さらに、中学生以下の子ども1人につき購入代金の5%を助成。

〈購入・新築等に伴う助成〉

たとえば

南阿蘇町では、住宅新築の場合、最大100万円、住宅購入の場合、新築は最大100万円、中古住宅は最大25万円を助成。

一部の市町村では、地元産木材を使って住宅を建築する場合などに経費の一部を助成。

〈定住支援〉

たとえば

八代市では、公営住宅分譲地を契約後、3年以内に住宅を建設して転入した場合、定住支援金として10万円を支給。

〈リフォーム助成〉

たとえば

玉名市では、住宅の取得に伴い市外から転入した方で、市内業者の施工で20万円以上のリフォームをした場合、費用の半額(上限50万円)を補助(条件あり)。

菊池市では、空き家バンクに登録されている物件を購入又は賃借した場合に、改修に伴う経費の2/3(上限100万円)を補助。

家を借りる

〈家賃助成〉

たとえば

熊本市では、「特定優良賃貸住宅」において、入居の翌月から3年間、家賃(入居者負担額)を1万円減額(条件あり)。

甲佐町では、新婚世帯や子育て世帯を対象とした「子育て支援住宅(グェルデ甲佐)」に入居の場合、家賃を最大月額22,000円減額(入居・減額条件あり)。

西原村では、河原校区以外の地域で児童を扶養するものが児童と共に河原校区内の賃貸住宅に入居する場合、月額1万円の家賃を補助。



助成やサポートを活用して

のびのび、楽しく 子育てしよう!



子どもを持つ家庭であれば、気になるのが子育てに関する支援制度や教育体制。熊本県では市町村ごとに手厚いサポートを行っているので、その一部をご紹介します。

※支援制度の実施市町村一覧は32Pをご覧ください。(情報は平成30年5月現在のもの)

※例示してある市町村以外でも実施しています。詳しくは各市町村へ確認を。

バラエティに
富んだ特色ある
取り組み

〈医療費助成〉

全ての市町村で手厚い支援を実施しています。

中学3年生まで無料の市町村や、高校生(または18歳)まで無料の市町村などがあります。

※いづれも一部条件や上限あり

〈病児・病後保育〉

一部の市町村では、病児または病後児の子どもを一時的に預かります。

〈出生祝い金〉

商品券付き、毎月支給、第5子以降は50万円支給も!

たとえば

【第1子から支給】

南阿蘇町 第1子10万円、第2子20万円、第3子30万円、第4子40万円、第5子以降は50万円

産山村 第1子20万円、第2子30万円、第3子以降は毎月1万円を満5歳の誕生日まで支給(合計60万円)

五木村 1人につき10万円+第3子以降5歳まで毎年5万円

【第3子以降に支給】

菊池市 第3子10万円、第4子12万円+商品券3万円、第5子15万円+商品券5万円、第6子20万円+商品券10万円

〈保育料の負担軽減〉

多子世帯の経済的な負担を軽減するため、国や県の制度に加え、独自に保育料の軽減を図っている市町村もあります。

〈放課後児童クラブ・学童保育〉

保護者が仕事などで不在の家を支援するため、放課後の時間帯に児童を預かる事業を一部の市町村で実施しています。

〈教育〉

熊本県内では特色ある学校づくりが進められ、優秀な人材が育っています。理工系人材が多いことも特徴で、毎年約6,000人の新卒者を輩出、これらの優秀な人材は多くの企業から高く評価され、企業活動の原動力となっています。

▼熊本県内の学校数(平成30年5月1日現在)

小学校	349校(国公立349校)
中学校	173校(国公立164校、私立9校)
高等学校	76校(国公立55校、私立21校)
特別支援学校	20校(国公立20校)
専修学校	53校(公立4校、私立他49校)
高等専門学校	1校(国立)
大学・短大	13校(国公立3校、私立10校)

たとえば

食と環境の大切さを学ぶ、アイガモ農法体験

一武小学校(前期)では、卵から育てたアイガモを使って餅米を栽培。アイガモの世話や一連の米作りと収穫祭を通して「命をいただく」感謝の心と「環境の大切さ」を深く学びます。

町ぐるみで、先進的なICT教育

一部の市町村では小・中学校の教室に電子黒板を設置したり、中学校にタブレット端末を配備したりと、ICT教育による学力向上を図っています。

1万人以上が来場、熊商デパート

熊本商業高校の販売実習として30周年を迎えた恒例行事。研修や協賛企業との打ち合わせ、仕入れ、販売、管理まで生徒が行います。

認定者多数! ジュニアマイスター

工業高校の生徒が資格・検定合格を通して身につけた知識・技術・技能を評価する制度。熊本では平成27年度、全国最多の776人が認定。

エアラインパイロットを目指す

熊本大学の工学部宇宙航空システム工学科・航空操縦学専攻では、熊本空港に隣接するキャンパスで実習教育によりエアラインパイロットを養成。

新しい産業でリーダーとなる技術者に

KUMADAI マグネシウム合金の開発で注目を集めた熊本大学、工学部材料・応用化学科では優れた材料研究を行い、新産業の担い手を育成。

くまもとでの暮らしをサポートします!

～熊本県の支援をご紹介します～



Uターン希望者



熊本県

- 総合相談窓口(熊本県地域振興課内)
- 熊本県移住・定住ポータルサイト等による情報発信
- 熊本県移住定住促進ガイドブック・パンフレットの配布など

都市圏(東京/大阪/福岡)

- 総合相談窓口(東京・有楽町)
- HP等による情報発信
- 熊本県移住定住促進ガイドブック・パンフレットの配布など
- 移住相談会などのイベント開催

熊本県では、こんな支援をしています!

サイトや身近な窓口で熊本の移住・定住情報をキャッチ!

東京と熊本の“総合相談窓口”に相談員を配置 (東京・有楽町/熊本県地域振興課)

『くまもと移住定住支援センター』(東京・有楽町のふるさと回帰支援センター内)に専任の移住相談員を、熊本県地域振興課に移住定住アドバイザーをそれぞれ配置。移住に関するさまざまな疑問にお応えします。

『くまもと移住定住支援センター』

東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館8階(ふるさと回帰支援センター内)
☎080-2125-1656
開館時間 10:00～18:00
休館 月曜、祝日
<https://www.furusatokaiki.net>

熊本県地域振興課
熊本市中央区水前寺6-18-1
☎096-333-2181



“総合相談窓口”では、
どんな人がどんな相談をしているの?
気になるその内容を
『くまもと移住定住支援センター』の
相談員さんに聞いてみました!

Q どのような人が利用されますか?

A 熊本県へのUターンをご検討中の方のほか、漠然と熊本県への移住に興味をお持ちの方が利用されます。各市町村の移住パンフレットなど、移住に関する資料も豊富に取り揃えていて、住まいや仕事の探し方、市町村の支援制度、暮らしについての疑問など、さまざまな質問・ご相談にお応えいたします。

Q 移住を考える方へメッセージ

A 移住先として、私のふるさとである熊本を選んでいただけることがとても嬉しく、特に熊本地震後はその気持ちが一層強くなりました。相談にいらっしゃるみなさんが熊本で新しい人生の一步を踏み出せるよう、精一杯サポートしています。ぜひお気軽にご利用ください。

移住相談会などのイベント開催

東京、大阪、福岡などの都市圏で移住相談会などのイベントを開催しています。先輩移住者が熊本での暮らしを紹介するセミナーや市町村の参加団体への直接相談など、移住への夢がグッと身近になるはず。



くまもと移住相談会の様子(平成29年度)

開催予定など、詳しくは“熊本県移住・定住ポータルサイト”または熊本県地域振興課(☎096-333-2181)へ確認を。

熊本県移住定住促進 パンフレットの配布

このガイドブックをコンパクトにまとめたパンフレットも配布中。ふるさと回帰支援センター(東京・有楽町)、移住・交流情報ガーデン(東京・京橋)、銀座熊本館(東京・銀座)、大阪ふるさと暮らし情報センター(大阪・本町橋)、熊本県東京・大阪・福岡事務所、熊本県地域振興課などで配布されるほか、PDFデータは“熊本県移住・定住ポータルサイト”に掲載されます。



熊本県移住・定住ポータルサイト

市町村ごとに地域の魅力や支援内容などの詳細が分かりやすく網羅されていて、移住先を検討する際に便利です。各市町村で開催される移住体験ツアーなどのイベント情報や、移住者の体験談、地域おこし協力隊募集のお知らせなどもこちらで。



熊本 移住 検索



移住体験ツアーの開催

各市町村では、移住を検討中の方に向けた様々な体験ツアーを開催しています。観光スポット巡り、先輩移住者や地域との交流会、空き家見学、地元食材を使った食事など。1泊2日～2泊3日程度で参加できるものが多く、効率良く情報収集や土地の魅力を知ることができます。詳しくは熊本県移住・定住ポータルサイトまたは各市町村のホームページなどで確認を。



くまもと移住体験ツアーの様子(平成29年度)

「お試し暮らし」をしてみよう!

各市町村では移住を検討している人を対象に、一定期間滞在できる支援を行っています。
移住・定住を決める前に、熊本での生活を試してみませんか?

◎開閉町
お試し暮らし住宅

静かな住宅地で、のんびりと田舎暮らしを体験しやすい環境です。農産品も揃っており、気軽に生活体験をいただけます。

- 利用期間: 1泊以上30日以内
- 利用料: 1泊1,000円 ※光熱水費込
- 開閉町 まちづくり課 企画振興係 ☎0968-57-9501

◎荒尾市
お試し暮らし体験住宅

周辺にはスーパーや運動施設などがあり、車がなくても生活しやすい環境です。農産品も揃っており、気軽に荒尾暮らしを体験することができます。

- 利用期間: 3日～90日
- 利用料: 1泊1,000円(朝食) ※光熱水費込み
- 荒尾市 くらさいさい課 ☎0968-57-7163

◎玉名市
おためし暮らし住宅

ハウス型の農地が広がる有明海近く。近隣にスーパー、銀行、病院、温泉施設も。家電一式は調理器具や自転車など完備。

- 利用期間: 1週間以上3カ月以内
- 利用料: 月15,000円 ※光熱水費込み
- 玉名市 地域振興課 ☎0968-75-1421

◎菊池市
さくちお試し暮らし住宅

閑静な住宅地に建つ築50年の木造平屋建(6LDK)。空き家バンク情報利用登録者が対象。

- 利用期間: 5日以上30日以内
- 利用料: 1泊1,100円 ※光熱水費込み
- 菊池市 企画振興課 集落・定住支援室 ☎0968-25-7250

◎和水町
お試し暮らし住宅

趣ある木造平屋の日本建築に滞在。家電一式とガスコンロ、駐車場、インターネット環境を完備。布団は持参orレンタル。

- 利用期間: 3日～14日
- 利用料: 1日500円 ※光熱水費込み
- 和水町 まちづくり推進課 ☎0968-86-5721

◎山鹿市
お試し暮らし体験住宅

山麓の清流沿い。平屋一戸建て住宅でゆっくりとした時間を過ごすことができる。和室3部屋を備えた3LDKの住宅。インターネット環境完備。空き家バンク情報登録者が対象。

- 利用期間: 1泊～3カ月
- 利用料: 1日500円 ※光熱水費込み
- 山鹿市 地域生活課 ☎0968-43-1114 ※6月・7月は利用不可

◎鹿山村
お試し滞在住宅

ヒコガイ公園の麓、近くに農産物と山吹水源がある5LDK木造平屋。システムキッチンほかカマドも。インターネット環境あり。

- 利用期間: 1泊2日～27泊28日
- 利用料: 1泊2日6,000円～27泊28日2万円 ※光熱水費込み
- 鹿山村 企画振興課 ☎0967-25-2211

◎山都町
短期滞在施設

新築地区6カ所、灌漑地区1カ所、失地地区1カ所の施設を貸し出し、町内でのイベント参加や居住体験など、町民・集落との交流を目的とした滞在施設。

- 利用期間: 最長1年
- 利用料: 月13,000円～22,100円 ※光熱水費、電気及び自治会費等は別途
- 山都町 山の都創設課 山の都づくり推進室 ☎0967-72-1158

◎御船町
おためし移住ハウス

大自然に恵まれ、周辺にコンビニやスーパーも徒歩圏内。「ちょうどいい田舎」の「あふねの暮らし」をぜひ、ご体験ください!

- 利用期間: 1泊2日～30泊31日
- 利用料: 1泊2日6,000円
- 御船町 企画振興課 ☎096-282-1263

◎氷川町
移住体験住宅

交通アクセスのよい3DKの平屋2棟と自然に囲まれたのんびりとした山暮らしが体験できるロフト付きの戸建て1棟に、家具や家電、調理器具等を完備。お好みの住宅を選んで、気軽に「ひかわ暮らし」を体験することができます。

- 利用期間および利用料: 7日以内8,400円
- 8日～1か月未満8,400円+1,200円/日加算
- 1か月以上30,000円
- ≧1か月未満の利用は光熱水費込み
- 氷川町 地域振興課 ☎0965-62-2311

◎五木村
高野短期居住施設

五木村の中心部にほど近い高野地区。車身でも世界でもお試し居住体験ができます。最長1年間利用が可能で、地元の方と交流や住居の魅力を体験することができます。

- 利用期間: 最長1年
- 利用料: 専身用10,000円/月 世帯用17,500円/月
- 五木村 ふさと企画課 ☎0968-37-2212

私たちも応援しています! 地域支援団体等の紹介

下見に伴う情報提供や体験事業、センパイ移住者による直接相談など。
県内には移住を支援する団体が色々あるので、気軽に相談してみませんか?

◎玉名市
NPO法人あめのゆみ Rainbow Project 九州

☎080-9562-1087

移住者と地元住民の交流を育む「田んぼカフェ」運営など、都心と地域を繋ぎながら地域の“宝”を活かした発展に向けて心豊かな社会づくりを目指している。

◎菊池市
集落・定住支援センター きくち暮らし

☎0968-25-7250

廃校となった旧開門小学校に開所。地域と連携しながら移住・定住希望者へ空き家や空き地の情報提供などを行っている。

◎小国町
NPO法人 (一財) 学びやの里 小国暮らしの窓口

☎0967-46-5560

研修宿泊施設の木漏草の中に移住相談窓口の「小国暮らしの窓口」を創設。住居、仕事の紹介や、移住後のサポートを行っている。

◎阿蘇市
(公財) 阿蘇地域振興デザインセンター

☎0967-22-4801

阿蘇地域(山都町を含む)の移住・定住情報を発信、ご相談の内容にマッチする各市町村・窓口のご案内などのサポートを実施。そのほか、阿蘇地域や観光情報も提供している。

◎阿蘇市
NPO法人ASO 田園空間博物館

☎0967-35-5077

「道の駅・阿蘇」で移住・定住コンシェルジュが好評。空き家バンクや民間の借家情報、病院や学校など生活に役立つ情報を提供。移住者と意見交換できる機会も。

◎南阿蘇村
みなみあそ村 移住定住支援センター

☎090-4516-3341

移住に関するワンストップ窓口。専門のスタッフが、移住前の悩み事から、移住後のお悩み相談まで移住に関するコンシェルジュとなります。

◎山都町
(株) まちづくりやべ 山の都地域しごとセンター

☎0967-72-9111

空き家の紹介や入居を仲介。移住者同士のネットワーク作りのため、交流会などが開かれ、農業や起業をしたい人を民間にお力添えサポートしている。

◎甲佐町
NPO法人 自然楽合みやうち

☎096-234-0762

鹿山村地域に伝わる暮らしの知恵や技術を次世代に継承するため、地域づくり活動に係る事業を実施および支援。その一環として移住定住支援を行っている。

◎八代市
八代二見 定住促進協議会

☎070-5413-4901

モニターツアー、ワークショップや移住者交流会などで移住者と地元の人々が触れ合える機会を用意。HPは最新情報をフェイスブックなどSNSで配信。

◎芦北町
NPO法人 いただきアース

☎0966-88-0007

“3.11”を機に開業から移住した人たちが中心となり、移住者の視点を生かして活動。「地域再生」を合言葉に、自然と共に暮らしたいと願う移住者を支援している。田舎暮らしを体験できる宿泊施設も運営。

◎上天草市
上天草市セカンドライフ支援ネットワーク

☎0964-26-5539

上天草市への移住者によって構成。都市部のセミナーでは移住者自身が相談相手となり、移住後も親睦を深める交流会を開催するなど厚いフォローが嬉しい。

◎鏡町
鏡町移住体験施設

空き家となった元駐在所を改修した閑取り2DKの多目的交流スペース兼移住お試し施設。田舎風景のどかな住宅で田舎暮らしができます。家電一式、ガスコンロとインターネット環境完備。

- 利用期間: 原則3日～1カ月以内
- 利用料: 1泊1,500円
- ※光熱水費・インターネット使用料等込み
- 鏡町 企画振興課 ☎0966-38-4419-080-6419-4419

◎上天草市
移住お試し施設

上天草市内での生活を体験できる施設を提供。家電一式と家具類完備。寝具の持参又はレンタルが必要。海や自然に囲まれた環境で住居の魅力を暮らし体験にご活用ください。

- 利用期間: 7日以上30日以内
- 利用料: 6泊7日で12,000円(以降は1日ごとに2,000円)
- ※光熱水費込み
- 上天草市 企画振興課 ☎0964-26-5539

◎上天草市
ダーチャかねやきかねやき倶楽部

長閑な滞在施設「ダーチャかねやき」と2人、3人、5人部屋がある2階建ての短泊滞在型体験施設「かねやき倶楽部」。

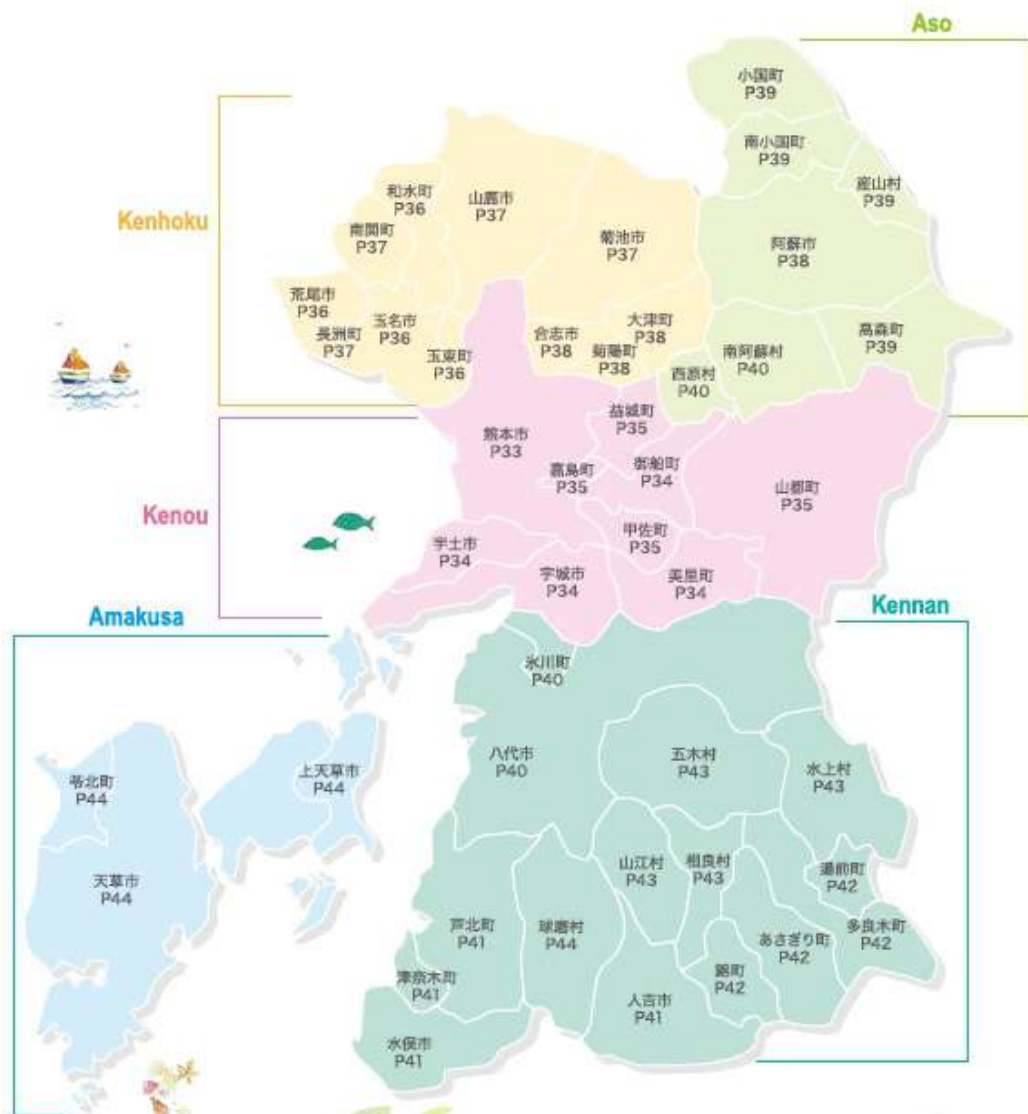
- 利用期間: 1泊～1カ月(かねやき倶楽部)、1カ月～3年(ダーチャかねやき)
- 利用料: 1泊1人2,000円(かねやき倶楽部) ※布団のレンタル代(700円/床)
- 月3万円・共益費3,000円(ダーチャかねやき) ※光熱水費は別途
- NPO法人 グリーンライフあまくさ ☎0969-66-9351

熊本県全市町村ガイド



熊本県には、45の市町村があります。

それぞれのデータや特徴、移住・定住の支援制度をご紹介します。ぜひ、参考にしてみてください。



Kumamoto

2019年4月現在

エリア	ページ	お問い合わせ先			結婚祝い	子育て支援				住宅支援				就労支援	お試し暮らし	その他特選				
		市町村名	課名	電話番号		出産祝い	育児手当	保育料補助	入学祝い金	就学費補助	医療費助成	その他の施策	住居取得補助				その他の補助	固定資産税減免	宅地貸付	空家紹介
県央	33	熊本市	経済政策課	0120-131-619																
	34	宇土市	まちづくり推進課	0964-22-1111																
		宇城市	まちづくり観光課	0964-32-1906																
		美里町	企画情報課	0964-47-1111																
		御船町	企画財政課	096-282-1263																
	35	嘉島町	企画情報課	096-237-2641																
		益城町	企画財政課	096-286-3223																
県北		甲佐町	地域振興課	096-234-1111																
		山都町	山の暮らし推進課	0967-72-1158																
	36	荒尾市	くらしいきいき課	0969-57-7163																
		玉名市	地域振興課	0968-75-1421																
		玉東町	企画財政課	0968-85-3188																
		和水町	まちづくり推進課	0968-86-5721																
	37	南関町	まちづくり課	0968-57-8501																
		長洲町	まちづくり課	0968-78-3239																
		山鹿市	地域生活課	0968-43-1114																
		菊池市	企画振興課・定住支援室	0968-25-7250																
阿蘇	38	合志市	企画課	096-248-1813																
		大津町	総合政策課	096-293-3118																
		菊陽町	総合政策課	096-232-2112																
		阿蘇市	まちづくり課	0967-22-3318																
	39	南小国町	まちづくり課	0967-42-1112																
県南		小国町	政策課	0967-46-2118																
		鹿山村	企画振興課	0967-25-2211																
		高森町	政策推進課	0967-62-1111																
	40	南阿蘇村	次世代定住課	0967-67-2705																
		西原村	企画振興課	096-279-3111																
		八代市	企画政策課	0965-33-4104																
		氷川町	地域振興課	0965-62-2311																
	41	水俣市	企画課地域振興係	0966-61-1607																
		芦北町	企画財政課	0966-82-2511																
		津奈木町	政策企画課	0966-78-3114																
天草		人吉市	企画課シティプロモーション推進室	0966-22-2111																
	42	錦町	企画観光課	0966-38-4419																
		あさぎり町	商工観光課	0966-45-7220																
		多良木町	企画観光課	0966-42-1257																
		湯前町	企画観光課	0966-43-4111																
	43	水上村	総務課	0966-44-0311																
		相良村	総務課	0966-35-0211																
		五木村	ふるさと振興課	0966-37-2212																
		山江村	企画振興課	0966-23-3112																
	44	球磨村	企画振興課	0966-32-1114																
	天草市	地域政策課	0969-27-6000																	
	上天草市	企画政策課	0964-26-6539																	
	苓北町	企画政策課	0969-35-1111																	

※国や県の制度は全市町村対象であるため、原則として市町村独自の制度のみを掲載しています。
※掲載されている支援施策には、条件のついているものや、支給までに時間を要する場合があります。詳しくは各市町村にお問い合わせください。

熊本市 くまもと

人口:738,063人(平成31年4月1日現在)
面積:390.32km²
経済政策課
熊本県熊本市中央区手取本町1-1 ☎0120-131-619
ujj@city.kumamoto.kumamoto.jp
http://www.city.kumamoto.jp/



西区

金峰山から
熊本駅まで、
“華”のあるまち



ナルシロの丘からの夕日

金峰山や有明海など自然豊かで、海苔やみかんなど美味しい特産物が豊富。宮本武蔵が「五輪の書」を書いた巽蔵洞や有明海を巡りナルシロの丘を訪れると、ゆったりとした時間を過ごせます。一方、熊本駅周辺では九州新幹線が開業し、賑わいある都市空間が整備されており、豊かな自然と都市の利便性が調和した地域です。

北区

人・歴史・自然が
融合したず〜っと
住みたくなるまち



武蔵野公園

都市近郊の住宅地と畑作を中心とした農業が盛んな地域を併せ持ち、田原坂公園や武蔵野公園などの史跡や豊かな自然にも恵まれた地域です。近年、国道3号線熊本北バイパスなどの幹線道路の整備も進められており、交通の要衝の地として一層期待され、ず〜っと住みたくなるまちづくりを目指しています。

誰もが住んでみたくなる「上質な生活都市」

熊本市は九州の中央に位置する政令指定都市です。復旧・復興へ進む熊本城を中心とした市街地の賑わいの中に歴史・文化、市民の水辺水邊を全てまかなう地下水、「森の都」と称される豊かな緑や農水産物を有し、更には優れた医療環境の充実などに磨きをかけ、誰もが住んでみたい「上質な生活都市」を目指しています。

主な移住・定住支援制度

- ①熊本市U11ターナーサポートデスク
「熊本市に移住したい」「熊本市で働きたい」と考えている方々を対象に相談窓口を開設しています。ぜひ、お気軽にご相談ください。
(☎0120-131-619)
- ②無料優待証「うえるかむパスポート」
熊本市の歴史的・文化的施設で利用できる無料優待証「うえるかむパスポート」を転入手続き時に交付しています。

中央区

出会いが生まれ、
つながる、市の中心地



水辺や成瀬園

熊本のシンボルである熊本城や水前寺成徳園、西日本最大級のアーケード街を有し、行政やビジネスの中心となっている中央区。医療・教育・文化施設など、生活をおくるうえで必要な機能がコンパクトに集積する一方、自然の安らぎと豊かな歴史が感じられる地域です。

東区

都市性と自然が
調和したまち



江津川の風景

5区の中で人口が最も多い区です。区域内には九州自動車道や東バイパスなどの主要幹線が走り、商業施設や医療機関、学校や福祉施設などが充実。一方では、鈴鹿三山、運動公園や江津湖の自然が広がり、都市の利便性と自然と調和した住環境に優れた地域です。

南区

農・漁業が盛んな
“いきいき暮らしのまち”



熊山からの眺め

一級河川の加勢川、緑川が東西を貫流、公園緑地を有する自然豊かな地域です。米・麦栽培のほかナスやトマトなどの施設農産物が盛んで海苔、アサリ、ハマグリなど漁業資源も豊富。区を中心に国道3号線が通り、JR各駅やスマートインターチェンジなど交通アクセスの良さも魅力です。

宇土市 うと

人口:37,270人(平成31年4月30日現在)
面積:74.30km²
まちづくり推進課
熊本県宇土市鴻田町51
☎0964-22-1111
machi01@uto.kumamoto.jp
http://www.city.uto.kumamoto.jp



みんなでつろう！
元気な宇土市！

熊本市の南に位置する宇土市、熊本県内の主要道路や鉄道が集中しており、通勤や通学、買い物、余暇活動など日常生活における利便性の高さが魅力。その一方で日本の夕日百選に選定される景勝地「御興米海岸」をはじめとする自然も身近にあり、住みやすい都市です。

主な移住・定住支援制度

- ①新築住宅の固定資産税減免
令和3年3月31日までに新築された住宅に対して、固定資産税を3年間減免します。
- ②創業(起業)支援制度
市内での創業(起業)に伴う対象経費の2/3、上限100万円を補助します。

美里町 みさと

人口:10,030人(平成31年3月31日現在)
面積:144.00km²
企画情報課
熊本県下益城郡美里町3和420
☎0964-47-1111
kikaku@misato.kumamoto.jp
http://www.town.kumamoto-misato.lg.jp/



自然と緑につつまれた
石段と石橋の郷

熊本県の中央に位置し、熊本市から約30km、車で約40分程度の距離にある自然豊かなまち。石橋や城跡をはじめとする歴史的建造物のほか、日本一の石段などの観光地や施設があり、多くの伝統文化が根付いています。これら美里町の魅力を歩いて感じる“フットバス”も盛んです。

主な移住・定住支援制度

- ①空き家バンクに登録され、売買契約又は賃貸借契約が成立した空き家の改修・不要物撤去・家賃・購入に要した経費を一部助成します。
- ②県産材を使用して住宅を新築する場合、坪数に応じ最高50万円を助成します。
- ③18歳の到達年前まで医療費無料です。

宇城市 うまし

人口:59,119人(平成31年4月1日現在)
面積:188.58km²
まちづくり観光課
熊本県宇城市松崎町大野85
☎0964-32-1906
machizukuri@city.uki.kumamoto.jp
https://www.city.uki.kumamoto.jp/ukinisun/



都会スタイルとは違う、
宇城の暮らしスタイル

宇城市は、176地区の行政区があり、消防団や区役所、地域の祭りなど人のつながりが強いまちです。駅、バスもありますが、車やバイクが必要な場合もあります。都会の生活スタイルとは違う、「あなただけの宇城市の暮らし方スタイル」を見つけてみませんか？

主な移住・定住支援制度

- ①こども医療費助成事業
中学校3年生までの保険診療の自己負担分の助成を行います。乳幼児は自己負担なし。児童は保険医療機関等ごとに外来、月額1000円、入院、月額2000円の自己負担があります。
- ②第3子以降保育料無料化
認可保育園の保育料は、第3子以降は無料です。また、保育料には、所得状況に応じた措置もあります。
- ③子育て世代空き家取得支援事業
宇城市空き家バンク制度に登録された空き家を子育て世代が自分たちが住むために購入した場合、支援いたします。

御船町 みふね

人口:16,923人(平成31年4月1日現在)
面積:99.03km²
企画財政課
熊本県上益城郡御船町大字御船995-1
☎096-282-1263
community@town.mifune.lg.jp
http://www.town.mifune.kumamoto.jp/default.aspx



“ちょうどいい”田舎 御船町

御船町は、町内に国道443号、445号を有するとともに、2カ所のIC(御船IC、小池・高山IC)を構え、駅・空港へのアクセスにも優れた町です。また、御船層群と呼ばれる白亜紀後期の地層があり、日本で初めて肉食恐竜の化石が発見され、恐竜化石産地として世界的にも注目を集めています。

主な移住・定住支援制度

- ①地域おこし協力隊制度
地域活性化と定住促進を図るための制度です。
- ②結婚・出産のお祝い制度
それぞれ5千円の商品券で、市内指定の店舗で花束、和洋菓子の詰め合せと引換え可能です。
- ③合併処理浄化槽設置補助金
5人層は33.2万円、7人層は41.4万円、10人層は54.8万円を補助します。

嘉島町 かしま



人口: 9,463人(平成31年3月31日現在)
面積: 16.65km²
企画情報課
熊本県上益城郡嘉島町上島530
☎096-237-2641
kikaku@town.kashima.kumamoto.jp
http://www.town.kashima.kumamoto.jp



「水」と「元気」が湧く町、嘉島町

十数カ所もの湧水群を擁し、「六嘉湧水群・浮島」は平成の名水百選にも選ばれています。また嘉島町では企業誘致や住宅開発も進んでおり、都市近郊でありながら、農業・商業・自然環境のバランスが取れた町です。住みやすさを求めるなら、ぜひ嘉島町へお越しください。

主な移住・定住支援制度

- ①創業支援事業
創業希望者にフレスト相談窓口を開設しています。
- ②ファミリーサポートセンター事業
育児援助を必要とする人と子供を預かることのできる人を繋げる仕組みがあります。
- ③子ども医療費助成事業
義務教育終了日までの子どもの医療費を全額助成します。

益城町 ましき



人口: 32,837人(平成31年4月1日現在)
面積: 65.68km²
企画財政課
熊本県上益城郡益城町木山594
☎096-296-3223
fukkoukikaku@town.mashiki.lg.jp
https://www.town.mashiki.lg.jp/



都市と自然が調和し、 安心安全のまちづくりが進むまち

熊本市の東側に接し、高速道路のICや県の玄関口である空港もあり、県内外への移動に便利で近隣のアクセスも良いです。四季折々の田園風景を残しつつ、熊本地産の産物を活かした公共施設や道路等の整備が始まり、安心・安全のまちづくりが進んでいます。

主な移住・定住支援制度

- ①益城町定住促進補助金
指定する区域に一戸建てを新築または購入し居住した家族に100万円、未就学児童数に応じた加算金を交付します。
- ②中学生以下の医療費を全額助成します。
- ③ファミリーサポートセンター
急用がある場合、サポーターが保育園等の迎えや自宅預かりをする制度です。

荒尾市 あらい



人口: 52,525人(平成31年3月31日現在)
面積: 57.37km²
くらしいきき課
熊本県荒尾市内宮内目390番地
☎0968-57-163
kurashi@city.arai.lg.jp
http://www.city.arai.lg.jp/q/ist/433.html



海と山に囲まれたコンパクト シティで「ほどよい田舎暮らし」

荒尾市は、熊本県の西北端に位置し、東には小岳山、西には有明海と、山と海に囲まれた自然豊かな環境です。商業、医療福祉、文化施設が集積しているコンパクトシティです。また平均気温は16.3℃、平均降水量は1,891mmと温暖な気候となっており、自然災害が少ないことも特徴です。

主な移住・定住支援制度

- ①お試し暮らし体験住宅
荒尾の風土、生活を体験してもらうために、住宅(家具・電化製品付き)を最長3日～最長90日間(光熱水費込みで1,000円/日(税別))貸し出します。
- ②移住定住コンシェルジュ(相談員)
地域おこし協力隊が、移住やリターンへの相談対応や体験住宅利用時のサポートを行います。
- ③小学校給食費の無償化を平成29年度から実施しています。

玉名市 たまな



人口: 66,319人(平成31年3月31日現在)
面積: 152.55km²
地域振興課
熊本県玉名市岩崎163番地
☎0968-75-1421
chiki-s@city.tamana.lg.jp
http://www.city.tamana.lg.jp



生活の利便性が高く、 日常的に温泉が楽しめる

玉名市は、菊池川を中心に平野が広がる自然豊かな田園都市です。市街地に国・県の機関や大学、高校、病院、商業施設が立地し、九州新幹線新玉名駅を有するなど、生活の利便性が高いまちです。また、玉名温泉や小天温泉などの温泉施設があり、日常的に温泉が楽しめます。

主な移住・定住支援制度

- ①第2次定住促進補助事業
住宅の取得に伴い、市外から転入した方に補助します。
- ②空き家バンク制度
市内にある「売りたい・貸したい空き家の情報」をご紹介します。
- ③おためし暮らし事業
天水地区中心部近くで、玉名暮らしを体験できます。家賃1月5,000円、最大3カ月利用可能です。

甲佐町 こうさ



人口: 10,805人(平成31年4月1日現在)
面積: 57.93km²
地域振興課
熊本県上益城郡甲佐町大字豊内719番地4
☎096-234-1111(代表)
chiki01@kosa.kumamoto.jp
http://www.town.kosa.kumamoto.jp/



花と緑と鮎の町 ～子育て世代に優しい町～

清流蘇川が南北に貫通しており、豊かな自然に囲まれた地域です。また、熊本市内まで車で約30分、最寄りのICまで車で約20分とアクセスの良さも魅力です。「市内への通勤圏内でありながら自然豊かな環境で子育てができる」甲佐町。ぜひ一度甲佐町へ遊びに来てください。

主な移住・定住支援制度

- ①甲佐町定住助成金制度
甲佐町で新たに土地を取得された40歳未満の方に最大100万円の助成金を支給します。
- ②子ども医療費助成事業
中学3年生までの子どもの医療費の自己負担分を全額助成します。
- ③出生祝い金
第3子以降の出生に対し、1人当たり10万円を支給します。

山都町 やまと



人口: 14,892人(平成31年4月1日現在)
面積: 544.67km²
山の都創造課 山の都づくり推進室
熊本県上益城郡山都町浜町6
☎0967-72-1158
shoken@town.kumamoto-yamato.lg.jp
http://www.town.kumamoto-yamato.lg.jp/



自然体で暮らすまち、山都町

山都町は、九州のほぼ中央「九州のへそ」に位置し、滝や渓谷などの景勝地が多く、自然を活かした名所やレクリエーション施設が数多くあります。標高が高いため、夏は涼しく、冬は寒さが厳しい地域です。また、有機栽培の生産者が多く、有機農業発祥の地といわれています。

主な移住・定住支援制度

- ①山都町短期滞在施設
移住を検討中の方向けに最長1年間施設を提供します。
- ②空き家バンク制度
町内の賃貸・売却が可能な空き家を登録してもらい、住居を探している方へ情報を提供します。
- ③山の都の定住支援事業
空き家バンク制度に登録された空き家の改修費等を一部補助します。

玉東町 たまとう



人口: 5,295人(平成31年4月1日現在)
面積: 24.33km²
企画財政課
熊本県玉名郡玉東町木葉759
☎0968-85-3188
http://www.town.yamagoto.kumamoto.jp/



交通の利便性と 周辺環境が整った便利な田舎

熊本市の西、玉名市の東に位置する玉東町は、JR鹿児島本線木葉駅を有し、国道208号も通っているため熊本市や玉名市への交通の利便性が良く、住宅地として魅力溢れる町です。子育て支援や高齢者の生きがいづくり、健康増進などに力を入れ、暮らしやすい町づくりを進めています。

主な移住・定住支援制度

- ①定住補助金
町外から町分譲地に定住するための家を建築した方で、中学生以下の世帯員がある場合、1人につき20万円を助成しています。
- ②住宅建築補助金
町分譲地に定住するための家を建築し、転入した場合、50万円を助成しています。
- ③空き家バンク制度

和水町 なごみ



人口: 10,005人(平成31年4月1日現在)
面積: 98.75km²
まちづくり推進課
熊本県玉名郡和水町江田3886
☎0968-86-5721
msui@town.nagomi.lg.jp
http://www.town.nagomi.lg.jp/



人温かく、心「なごみ」まち 便利な田舎で暮らしませんか

和水町は、九州自動車道の菊水ICがあり、交通の便に恵まれています。菊池川の清流や山々に囲まれた自然溢れる環境で、のんびりとした暮らしができ、米やナスなど農産物の生産も盛んです。江田船山古墳や良質な温泉を誇る三加和温泉は、県内各地から多くの人が訪れています。

主な移住・定住支援制度

- ①子ども医療費助成
高校3年生までの子どもの医療費を全額助成します。
- ②出産祝い金
第1子～第3子20万円、第4子35万円、第5子以降50万円を支給します。
- ③空き家バンク制度、お試し暮らし住宅制度

南関町 なんかんまち

人口:9,740人(平成31年3月31日現在)
面積:68.92km²
まちづくり課
熊本県玉名郡南関町大字関町1316番地
☎0968-57-8501
matidukurisuisin@townnankan.lg.jp
http://www.townnankan.lg.jp/



緑にいきづく関所の里

南関町は、熊本県の北西に位置し、熊本県と福岡県の県境の町です。昔は参勤交代の関所が置かれ、交通の要衝として栄えました。九州自動車道の南関ICを有しており、熊本県北の玄関口として発展してきました。福岡や熊本を中心地まで約1時間と利便性のよい町です。

主な移住・定住支援制度

- ①住宅取得等補助金(要件あり)
新築・新築住宅を購入する人に最高100万円、中古住宅の購入・リフォームをする人に最高50万円の補助金を支給します。
- ②関所っ子誕生祝金
第1子10万円、第2子20万円、第3子30万円、第4子40万円、第5子以降50万円
- ③保育料助成金
納付した保育料の1/2を助成します。

長洲町 ながすまち

人口:16,048人(平成31年3月31日現在)
面積:19.44km²
まちづくり課
熊本県玉名郡長洲町大字長洲2766番地
☎0968-78-3239
teijyu@townnagasu.lg.jp
http://www.townnagasu.lg.jp/



永く住みたいまち長洲町 —子育て支援・教育環境の充実したまち—

永く住みたいまち「長洲町」。幼児英語教育、中学生まで医療費無料化などの充実した子育て支援、働く環境や交通の便にも恵まれ、共働きでも安心して子育てができます。また、日本有数の金魚の産地で、造船業やサッシ業など工業のまちとしても有名です。

主な移住・定住支援制度

- ①長洲駅前側を中心に定住促進に向けた宅地開発が進んでいます。子育て世代向けの地域優良賃貸住宅(250戸)を順次整備します。
- ②空き家バンク登録物件を購入し、居住する世帯を対象に改修費用の50%(最大10万円)を補助します。
- ③移住定住をサポートする情報サイト「ざっつと長洲」を開設しています。

合志市 ごしし

人口:62,343人(平成31年3月31日現在)
面積:53.19km²
企画課
熊本県合志市竹迫2140
☎096-248-1813
kikaku@city.koshi.lg.jp
https://www.city.koshi.lg.jp/



元気・活力・創造のまち ～健康都市こうし～

合志市は、熊本市街、熊本空港や高速道路へのアクセスの良さが魅力です。多数の企業が進出する産業都市としての顔も併せ持つ職住近接の便利なまちです。また、穏やかな台地状で災害が少なく、豊かな緑や地下水など自然環境にも恵まれています。

主な移住・定住支援制度

- ①こども医療費助成制度
市内に在住の0歳から中学校3年生までのお子さんが、病気やけがで健康保険が適用になる診療を受けた場合の医療費自己負担分を市が助成します。
- ②空き家バンク
空き家情報をウェブサイトに掲載しています。

大津町 おおつまち

人口:34,765人(平成31年4月1日現在)
面積:99.10km²
総合政策課
熊本県菊池郡大津町大字大津1233
☎096-293-3118
sougou@town.ozu.kumamoto.jp
http://www.town.ozu.kumamoto.jp/



元気大津!自然と産業が バランスよく調和した住みよい町

阿蘇と熊本市の中間に位置する大津町は、広大な森林と田畑が広がる自然豊かな町です。その自然を生かし、町特産のカライモ(サツマイモ)や米の栽培等を中心に産業が発展してきました。一方で、交通の要衝としての特性を活かし、企業誘致に取り組んできた結果、子育て世代の移住も増えている活気のある町です。

主な移住・定住支援制度

- ①大津町無料職業紹介所
町内の事業所の求人情報を公開しています。
- ②子ども医療費助成
中学3年生までの医療費自己負担分を町が全額負担します。

山鹿市 やまがし

人口:52,008人(平成31年3月31日現在)
面積:299.67km²
地域生活課
熊本県山鹿市山鹿987-3
☎0968-43-1114
chiko@city.yamaga.kumamoto.jp
http://www.city.yamaga.kumamoto.jp/



自然と暮らしが おとなりさん。

古くから豊かな湯量を誇る温泉郷としての歴史を持ち、江戸時代に宿場町・交通の中継地として栄えた情緒あふれる町並みは、多くの人に愛されています。少し車を走らせるとのどかな田園風景…。桜よく田舎で、桜よく街中。人生の転機を考える人に、今「山鹿」が選ばれています。

主な移住・定住支援制度

- ①こども医療費助成制度
新生児から18歳までの医療費(自己負担分)を全額助成しています。
- ②結婚サポート「やまがけいりどん」事業
- ③移住者用住宅支援制度(空き家バンク活用促進補助/三世帯同居住宅支援事業補助/お試し住宅)により住居のサポートを行います。

菊池市 きくちし

人口:48,785人(平成31年3月31日現在)
面積:276.66km²
企画政策課
熊本県菊池市隈府888番地
☎0968-25-7250
kikaku@city.kikuchi.lg.jp
http://www.city.kikuchi.lg.jp/juteiju/



癒しの里きくちで 心の充実感のある生活を

「水」を守り繋ぐ、歴史と文化のある菊池市。菊池渓谷をはじめとする豊かな自然は、訪れる人々に「癒し」を提供しています。水よし、米よし、温泉よしの「癒しの里 菊池」で心の充実感のあるライフスタイルを見つけませんか?

主な移住・定住支援制度

- ①移住・定住コンシェルジュを配置
- ②中学生までの医療費無償
病中・病後児保育など子育て支援も充実しています!
- ③空き家改修補助事業
事業費3分の2(最大100万円まで)やお試し住宅、短期滞在宿泊費補助などあり、移住のサポートを行います。

菊陽町 きくようまち

人口:41,822人(平成31年3月31日現在)
面積:37.46km²
総合政策課
熊本県菊陽郡菊陽町大字久保田2800番地
☎096-232-2112
sogoseisaku@town.kikuyo.lg.jp
https://www.town.kikuyo.lg.jp/



豊かな自然が残る 活気あふれる生活都市

菊陽町は一級河川の白川を中心に田畑が開け、町の北部と南部には豊かな自然が残る、緑豊かな生活都市です。近年では、町西部地域で都市化が進み、大型商業施設の進出や郊外型住宅地の分譲で人口が増え続けるなど、活気あふれる元気な町となっています。

主な移住・定住支援制度

- ①定住促進補助金制度
新たに対象地区内に転入または転居し、3年以上継続して居住する人に補助金を交付します。
- ②子ども医療費助成
中学校3年生までの健康保険適用分の自己負担額を町が助成します。

阿蘇市 あそし

人口:26,199人(平成31年4月1日現在)
面積:376.25km²
まちづくり課
熊本県阿蘇市一の宮町宮地504-1
☎0967-22-3318
machizukuri@city.aso.lg.jp
http://www.city.aso.kumamoto.jp/



豊かな自然と笑顔あふれる 国際環境観光都市

九州のほぼ真ん中に位置し、阿蘇五岳の麓に広がる阿蘇市は、世界ユネスコジオパークにも認定されており、360度の大パノラマに抱かれて四季が織り成す美景を堪能できるまちです。草原での放牧、水資源、温泉などに加え、生活・教育・医療環境も充実しています。

主な移住・定住支援制度

- ①空き家バンク制度
「阿蘇市空き家バンク」を開設しています。
- ②阿蘇市商店街活性化補助
商店街の空き店舗を利用し、新たに出店する事業者に対して補助金を交付します。
- ③新規就農者支援
新たに農業経営を始める方で各条件を満たした就農者に対して支援します。

南小国町 みなみおぐにまち

人口:4,028人(平成31年3月31日現在)

面積:115.86km²

まちづくり課

熊本県阿蘇郡南小国町大字赤馬場143

☎0967-42-1112

info@town.minamioguni.kumamoto.jp

http://www.town.minamioguni.kumamoto.jp



6つの人気温泉地、雄大な草原、人の温かさが魅力

南小国町は、熊本県の北東、阿蘇外輪山、くじゅう連山のすその標高430~945mに位置し、一部は阿蘇くじゅう国立公園に属しています。筑後川の支流でもある大小7つの清らかな川が流れます。黒川温泉などの温泉や小国杉など豊富な自然が残る農山村です。

主な移住・定住支援制度

- ①南小国町空き家バンク
- ②乳幼児医療費助成金、子育て支援医療費助成金
出生から高校3年までの医療費個人負担を町が全額負担します。
- ③南小国町夢チャレンジ推進事業補助金
町内での起業に要する経費を一部補助します(最大300万円)。
町内で店舗開店した場合の家賃の30%以内、月額5万円までを補助します(最大3年間)。

小国町 おぐにまち

人口:7,070人(平成31年4月1日現在)

面積:136.72km²

政東課

熊本県阿蘇郡小国町宮原1567-1

☎0967-46-2118

ogunigurashi01@gmail.com

http://www.town.kumamoto-oguni.jp/



移住実績が多く、受け入れ体制が万全

直近5年間で120人が移住しており、受け入れ体制がしっかりしています。町内には約50カ所の温泉施設があり、様々な泉質の湯めぐりが日常的に楽しめます。保育園、幼稚園の特待児童もゼロで、暮らし方・働き方に合わせて選択することができます。

主な移住・定住支援制度

- お試し暮らし体験住宅
- ①仕事情報サイト「シゴコン」で仕事情報を紹介中です。
 - ②空き家バンクやお試し住宅の物件を紹介します(空き家バンク登録件数30件、入居可能は7件)。

南阿蘇村 みなみあそむら

人口:10,513人(平成31年4月1日現在)

面積:137.32km²

次世代定住課

熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字河馬1705番地1

☎0967-67-2705

minamiaso.ch@gmail.com(移住定住支援センター)

http://minamiasoiyuu.jp



水の生まれる郷 南阿蘇村

阿蘇山を望む見晴らしの良い風景、白川水源をはじめとする湧水群、多彩な泉質を持つ温泉、世界農業遺産にも認定された自然環流、豊かな湧水で育った新鮮な農作物、人と自然が共存する、「みんなの故郷(ふるさと)」、南阿蘇村で新しい生活を始めてみませんか?

主な移住・定住支援制度

- ①移住定住支援センター 090-4516-3341
空き家バンクをはじめ、移住希望者、現移住者が気軽に相談できる移住定住窓口です。
- ②子育て支援
満18歳まで医療費を助成するほか、小中学校の給食費を半額補助します。
- ③新規就農支援
新規就農に係る諸経費の補助、家賃補助など新規就農者を支援します。

西原村 にしはらむら

人口:6,751人(平成31年4月1日現在)

面積:77.23km²

企画商工課

熊本県阿蘇郡西原村大字小森3259

☎096-279-3111

http://www.vill.nishihara.kumamoto.jp



水と緑とひかりの村、西原村

西原村は、熊本市から東方20km地点に位置し、東部は阿蘇外輪山の一部である標高1,095mの俵山を中心に広大な原野と山林からなり、緑面積の80%占めています。地域の繋がりが強く、人の温もりを感じられる村です。高速道路や空港が近隣にあり県外とのアクセスがよいことも魅力です。

主な移住・定住支援制度

- ①子ども医療費(保険適用分)助成
中学生3年生までの医療費を全額助成します。
- ②浄化槽設置補助金
規模や種別に応じ33万2千円~54万8千円を助成します。
- ③賃貸住宅家賃の補助
河原校区以外地域において児童を扶養するものが、その児童と共に、河原校区内の賃貸住宅に入居する場合に、月額1万円補助します。

産山村 うぶやまむら

人口:1,512人(平成31年4月1日現在)

面積:60.81km²

企画振興課

熊本県阿蘇郡産山村大字山崎488番地3

☎0967-25-2211

ubuyama@ubuyama-v.jp

http://www.ubuyama-v.jp/



緑豊かな「草原」と「名水」「温泉」で癒しのひとときを

産山村は、雄大な自然に囲まれ、農林畜産業や観光業などが活発な元気いっぱい村です。基幹産業である農業は米作や高冷地野菜、畜産などが盛んです。緑豊かな草原や全国名水百選の池山水源など、誇れる観光資源も豊富です。また、近年では就農による移住が増えています。

主な移住・定住支援制度

- ①第1子は20万円、第2子は30万円、第3子以降は60万円の出産祝金を支給します。
- ②村内の公営住宅や空き家に関する情報や各種生活情報を村が紹介します。
- ③田舎への移住検討者の皆様に産山村での暮らしを体験してもらうため、お試し滞在ができる施設を有料で提供しています。

高森町 たかもりまち

人口:6,397人(平成31年4月1日現在)

面積:175.06km²

政策推進課

熊本県阿蘇郡高森町大字高森2168

☎0967-62-1111

seisaku@tkbb.jp

http://www.town.takamori.kumamoto.jp



根子岳の南麓に広がる、阿蘇の奥座敷

阿蘇五岳の一つである根子岳の南麓に位置し、「阿蘇の奥座敷」といわれる高森町。豊かな大地と清らかな水源、高冷地特有の気候で育まれた産物などに恵まれ、昭和の面影が色濃く残る、風情ある町です。

主な移住・定住支援制度

- ①空き家バンク制度
移住希望者に空き家を紹介。
- ②子ども医療費無料制度
高校生以下の医療費を全額助成。
- ③出産祝い金
出生時にお祝い金(第1子5万円、第2子10万円、第3子以降20万円)。

八代市 やつしろし

人口:127,306人(平成31年3月31日現在)

面積:681.36km²

企画政策課

熊本県八代市磯町内田453-1

☎0965-33-4104

kikaku@city.yatsushiro.lg.jp

http://www.city.yatsushiro.lg.jp/



しあわせあふれるひと・もの交流拠点都市「やつしろ」

八代市は、山・川・海そして広大な平野に恵まれ、全国有数の農業生産地、県内最大の工業都市として発展してきました。今後、3つの高速道路に、九州新幹線、海外クルーズ船が寄港する八代港などを活かし、人流・物流の拠点としてさらなる発展が期待されています。

主な移住・定住支援制度

- ①子ども医療費助成
0歳~中学生3年生の医療費の自己負担額を全額助成します。
- ②空き家バンク活用促進事業
空き家バンク成約物件の改修費用等を助成(1/2)します。
・不要物の撤去:上限10万円・改修工事等:上限40万円
- ③農業次世代人材投資
[準備型]と[経営開始型]で農業を始める方を応援します。

氷川町 ひかわちよ

人口:11,880人(平成31年3月31日現在)

面積:33.3km²

地域振興課

熊本県八代市氷川町宮原栄久69-1

☎0965-62-2311

chikai@hikawa.kumamoto.jp

http://www.hikawacity.hokuni-net.jp/



どこへ行くにも便利なまち 氷川町

氷川町は熊本県のほぼ中央に位置し、熊本市から約30km南にあるコンパクトな町です。町の中を清流氷川が流れ、山・川・海・田園などの豊かな自然に囲まれています。宇城氷川スマートICを有し、JR有佐駅や九州新幹線新八代駅も近く、交通アクセスが良い住みやすい町です。

主な移住・定住支援制度

- ①子育て支援
「出産祝い金」や高校生以下の医療費を全額助成する「子ども医療費助成事業」など各種支援制度があります。
- ②空き家バンク制度
町内にある登録された空き家の情報を提供します。改修や引越費用の一部を助成します。
- ③移住体験住宅
家具家電を完備した2種類3棟の移住体験住宅を整備しています。

水俣市 みなまたし

人口: 24,493人(平成31年4月1日現在)
面積: 163.29km²
企画緑地振興係
熊本県水俣市陣内1-1-1
☎0966-61-1607
kikaku@city.minamata.lg.jp
http://www.city.minamata.lg.jp



人にも環境にもやさしい、 環境首都・みなまた

県の南端に位置し、海と山に囲まれた温暖気候。九州新幹線・高速インターなど交通の便も良く、コンパクトにまとまった住みやすいまちです。また国の環境モデル都市や日本で唯一となる環境首都の称号を得るなど、環境へ配慮したまちを目指しています。

主な移住・定住支援制度

- ①空き家バンク制度
移住を検討中の方が安心して水俣で暮らせるよう、空き家バンク制度を設けています。
- ②子ども医療費助成
子ども(18歳到達年度まで)の医療費を全額助成しています。

芦北町 あしきたまち

人口: 17,220人(平成31年3月31日現在)
面積: 233.81km²
企画財政課
熊本県芦北郡芦北町大字芦北2015
☎0966-82-2511
seisaku@town.ashikita.lg.jp
①芦北町ふるさと寄附会・移住定住特設サイト「にしきまち」
http://ashikita-portal.com/
②芦北町HP http://www.ashikita-1.kumamoto-sqn.jp/



海と山に囲まれた、自然の恵みがたっぷり

熊本県南部に位置し、西側は不知火海、東側には九州山地がそびえる自然豊かな土地。芦北、温暖な気候と自然の恵みを受け、太刀魚や海老などの海産物が多く獲れ、デコポンやイチゴなどの美味しい農作物がすぐ近くで育っています。また、温泉が多数あり気軽に楽しめます。

主な移住・定住支援制度

- ①子ども医療費助成
子ども(18歳到達年度まで)医療費を全額助成しています。
- ②空き家バンク・空き家活用補助金
定住をサポートするため空き家バンクに取り組みしており、登録物件を対象に改装や不要物撤去費用の助成があります。
- ③木造住宅建築支援
町産材を活用した住宅建築への助成があります(一定条件あり)。

錦町 にしきまち

人口: 10,565人(平成31年4月1日現在)
面積: 85.04km²
企画観光課
熊本県球磨郡錦町大字一武1587番地
☎0966-38-4419
kikaku-kankou@nishiki.kumamoto.jp
移住定住応援サイト「にしきで暮らさんね?」
http://nishiki-iju.club/



ほどよく田舎 ほどよく便利 にしきまち

九州山地の山々に囲まれた隠れ里である錦町は、人吉駅に近づく、自然・人・歴史が豊かに実る庄です。山、渓谷、田園地帯は車で10分、大型ショッピングセンター・コンビニ・学校・病院も比較的近く、ほどよく田舎、ほどよく便利な錦町にいらしてください。

主な移住・定住支援制度

- ①子育て支援
子育て金(1子目から10万円、最高額5子以降25万円)
子ども医療費助成(15歳まで無料)
特定不妊治療費助成(15万円以内/回)
②にしきのあきや(空き家バンク制度)
空き家のみならず、空き事業所・店舗、空き土地についても紹介します

あさぎり町 あさぎり

人口: 15,542人(平成31年4月1日現在)
面積: 159.49km²
商工観光課
熊本県球磨郡あさぎり町免田東1199番地
☎0966-45-7220
kspt@asagiri.kumamoto.jp
https://www.town.asagiri.lg.jp/



くるたび幸福、あさぎり町

町には、日本で唯一名称に「幸福」がつくおかげめ幸福駅、そのことには「幸福神社」と呼ばれる阿留熊野座神社があります。リュウキンカ自生の南原地で、その花言葉は「必ず来る幸福」。たくさん幸福に囲まれたあさぎり町で、新たな暮らしを始めませんか。

主な移住・定住支援制度

- ①空き家情報バンク、②移住定住促進奨励補助金や③個人用住宅新築及びリフォーム助成金があります。町外からの移住者で住居を取得された方には、②③で最大100万円の補助があります。

津奈木町 つなぎまち

人口: 4,578人(平成31年4月1日現在)
面積: 34.07km²
政策企画課
熊本県芦北郡津奈木町大字津奈木2123番地
☎0966-78-3114
seisakukikaku@town.tsunagi.lg.jp
http://www.town.tsunagi.lg.jp



緑と海に囲まれた 豊かな自然とアートのまち

県南部にある津奈木町は「緑と彫刻のあるまち」として知られ、橋の欄干や公園などに設置された彫刻群や、さまざまなアートプロジェクトを発信する「つなぎ美術館」があります。豊かな自然とアートに囲まれながら、ゆっくりとした時間を過ごせる癒しの町での生活はいかがですか?

主な移住・定住支援制度

- ①出生児1人に10万円、誕生祝い品の贈呈、高校生以下の医療費無料など子育て世帯を応援します。
- ②新築工事等を町内業者が施工した場合に最大50万円を補助。分譲地購入者(限定)中学生以下の子ども1人につき分譲地価格の5%を助成します。
- ③空き家バンク制度があります。

人吉市 ひとよし

人口: 32,309人(平成31年3月31日現在)
面積: 210.48km²
企画課シティプロモーション推進室
熊本県人吉市下城本町1578番地1
☎0966-22-2111
kikaku@hitoyoshi.kumamoto.jp
https://hitoyoshi-life.jp



相良700年の歴史・文化と 「癒し」のある街

球磨川と九州山地に囲まれた山菜水明の地で、相良700年の歴史が息づく城下町の佇まいを残しています。国宝「青井阿蘇神社」をはじめ、数多くの文化財があります。また、良質な温泉と球磨焼酎の里として、老若男女を問わず「癒し」を味おえる空間が多数あります。

主な移住・定住支援制度

- ①こども医療費助成事業
中学3年生までの子どもの通院費・入院費(保険適用分)は無料
- ②給食費一部助成
給食費を子ども1人につき月千円助成
- ③空き家バンク制度を開始しました。

多良木町 たらぎまち

人口: 9,509人(平成31年4月1日現在)
面積: 165.86km²
企画観光課
熊本県球磨郡多良木町大字多良木1648
☎0966-42-1257
kikaku@town.taragi.lg.jp
https://www.town.taragi.lg.jp/



たらぎでやすらぎ ～悠久の時間を紡ぐ町～

多良木町は、熊本県の南部、球磨盆地の東部に位置し、町の面積の約80%が山林原野という自然豊かな麓山村です。気候は、当地特有で標高の差が大きく、秋から春にかけて霧が発生します。町の至るところに歴史遺産が点在し、今もなお、悠久の時間を紡いでいます。

主な移住・定住支援制度

- ①子育て支援
出生祝い金(10万円～25万円)、子ども医療費助成(18歳まで無料)、給食費半額助成など、子育て世帯を応援します。
- ②しごと創生支援住宅
起業を考えている方やスキルアップを図る人を支援します。サテライトオフィスとしての利用も可能です。
- ③IT環境
町内全域に民営民営の光ブロードバンドを敷設しています。

湯前町 ゆまへまち

人口: 3,860人(平成31年3月31日現在)
面積: 48.37km²
企画観光課
熊本県球磨郡湯前町1989番地1
☎0966-43-4111
kkakushinkou@yunomae.kumamoto.jp
http://www.yunomae-kaziri.com/



みどり豊かで、のどかな町

熊本県東部に位置する湯前町は人口約4,000人、コンパクトな町で、車なら10分あれば町内どこへでも行くことができます。昔ながらの田園風景が広がり、明治39年竣工の下町橋などの歴史文化財も数多く点在し、山あいでは珍しい瀬湯の温泉もあるなど、心癒されるのどかな町です。

主な移住・定住支援制度

- ①子育て支援
子ども医療費助成(18歳到達年度まで)、出生祝い金(1人につきお祝い金15万、2人目以降も同様)、保育料などの助成のほか、学童クラブや子育てサークルなど子育て世代を応援しています。
- ②住まいの確保応援
空き家バンク制度や住宅・空き家リフォーム助成制度があり、若者向けの住宅も整備しています。

水上村 みずかみむら

人口:2,197人(平成31年3月31日現在)
面積:190.96km²
総務課
熊本県球磨郡水上村大字岩野90
☎0966-44-0311
<http://www.vill.mizukami.lg.jp/>



美人湯あり、桜の名所あり。 自然と共生する村

九州中央山地の深く抱かれた水上村。自然豊かで球磨川の澄みきった水が美味しい農産物を育てます。「美人の湯」として知られる湯山温泉、市原ダム湖周辺に咲き誇る桜が観光の目玉。高地を利用したクロスカントリーコースもあり、夏場の陸上合宿地として人気です。

主な移住・定住支援制度

ふるさとマイホーム祝い金
新築(延床60㎡～):祝い金30万～50万円。
増・改築:工事費等100万円～、祝い金10万～30万円。
既存住宅(延床60㎡～):祝い金10万～30万円。

相良村 さがらむら

人口:4,454人(平成31年4月1日現在)
面積:94.54km²
総務課
熊本県相良村大字深水2500番地1
☎0966-35-0211
info@sagara.kumamoto.jp
<http://www.vill.sagara.lg.jp/>



相性が良くなる村。

相良村は、「ハート」の形をしていて、たくさんの愛が溢れた「相性が良くなる村」といわれています。人口の密度は濃くないけれど、愛の密度はどこよりも濃い。村の人たちはお互いを愛の力で支え合いつつ、毎日を楽しみながら暮らしています。

主な移住・定住支援制度

- ①空き家リフォーム補助金
空き家のリフォームに要する費用及び空き家に残存する家財等を処分する費用に対する補助金
- ②子育て支援制度の充実
高校生までの医療費無料、チャイルドシート購入助成、多子世帯入学祝い金など子育て世帯を応援します。

球磨村 くまむら

人口:3,648人(平成31年3月31日現在)
面積:207.58km²
企画振興課
熊本県球磨郡球磨村大字道丙1730番地
☎0966-32-1114
kikaku@kumakumamoto.jp
<http://www.kumamura.com/>



人と水と緑がきらめく球磨村

熊本県の南部に位置する球磨村は、村の中央を日本三大急流の一つ「球磨川」が流れ、眼下に雄大なパノラマが広がる自然豊かな遊びの宝庫です。穏やかに、優しく、人と自然が調和した悠久のロマンが、今も受け継がれています。

主な移住・定住支援制度

- ①子育て支援
出生祝い金として、出生児1人につき10万円を支給します。保育料が低額で、第2子は半額、第3子以降は無料です。子ども医療費は、出生から18歳の誕生日の年度末まで無料です。小中学校給食費の半額を助成します。
- ②空き家バンク制度
村内の賃貸・売買物件を紹介します。

天草市 あまぐさし

人口:80,235人(平成31年3月31日現在)
面積:683.87km²
地域政策課
熊本県天草市東浜町6-1
☎0969-27-6000
juu@city.amakusa.lg.jp
<http://naka.amakusa-web.jp/>



人と自然が輝く 日本の宝島「天草」

天草市は熊本県の南西部に位置し、青く美しい海に囲まれた天草諸島にあります。温暖な気候を生かした農業や、豊かな水産資源を生かした漁業が盛んなまちです。暮らす人たちの温かさを感じる天草。ここには豊かなスローライフを送るための素材が豊富にあります。

主な移住・定住支援制度

- ①空き家バンク制度
市内に点在する空き家等を移住・定住サイトで紹介しています。
- ②定住促進奨励金
空き家バンク制度に利用希望登録を行い、3年以上定住すること等を条件に最大20万円を助成します。
- ③充実した子育て支援
18歳までの医療費(自己負担分)は無料です。

五木村 いっぴきむら

人口:1,087人(平成31年4月1日現在)
面積:252.94km²
ふるさと振興課
熊本県球磨郡五木村甲2672-7
☎0966-37-2212
info@itsuki.kumamoto.jp
<https://www.itsuki.lg.jp/teijuu/>



水質日本一の自然が奏でる 子守唄の里

熊本県の南部の山岳地帯に位置し、村の中央には12年連続水質日本一の川辺川が流れ、四季折々の自然に包まれたのどかな村です。「五木の子守唄」発祥の地として知られていますが、近年は、アウトドアスポーツ(バンジージャンプ、カヤック等)にも取り組んでいます。

主な移住・定住支援制度

- ①お試し住宅
風土や気候を体感したり、地元の方と交流や就労活動、住宅探し等の拠点としてご利用ください。(世帯用:3部屋、単身用:3部屋)
- ②子育て支援
高校生までの医療費全額補助や、中学生までの子供の保護者に対して、一人当たり子育て支援金2万円を支給しています。

山江村 やまゑむら

人口:3,476人(平成31年4月1日現在)
面積:121.21km²
企画振興課
熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356番地の1
☎0966-23-3112
kikaku@yamae.kumamoto.jp
<http://www.vill.yamae.lg.jp/>



子どものふるさとにしたい村

子育てにやさしい村、山江村。ここでは、子どもを育てるのに必要な自然、教育、サポート体制、地域の見守りがあります。だから1人で頑張らなくていいんです。子育てする側、見守る側、小さい村だからこそ細やかな支援がたくさんあります。山江村で子育てしてみませんか？

主な移住・定住支援制度

- ①子育て支援
出産祝い金(5万円)、すこやか子ども医療費助成(高校生まで全額助成)、就学金支給(3万円)、小・中学校給食費全額助成、村営学習塾、CATVでの学校教育等の放送など
- ②お試し住宅(1件)
7日以内の滞在→7,000円
14日以内の滞在→14,000円
15日～1カ月以内の滞在→30,000円

上天草市 かみあまぐさし

人口:27,029人(平成31年4月1日現在)
面積:126.91km²
企画政策課
熊本県上天草市大矢野町上1514
☎0964-26-5539
kikaku@city.kamiamakusa.lg.jp
<http://www.kamiamakusa-life.jp/>



人と海のふれあうまち

上天草市は、天草諸島の玄関口に位置し、大小様々な島が浮かぶ風光明媚な土地柄です。市のほぼ全域が雲仙天草国立公園に含まれ、日本三大松島の一つである天草松島の風景や眺海アルプスからの眺望など、四季折々に美しい表情を見せてくれます。年平均気温は17.7℃で、過ごしやすい気候です。

主な移住・定住支援制度

- ①移住アドバイザー配置
専任スタッフを配置し、相談対応等を実施しています。
- ②上天草市移住支援助成金
定住を目的に移住する方を支援するため、住宅取得や引越費用等を助成します。
- ③移住情報サイトを開設
移住情報サイト「上天草に住もう」を開設し、支援制度や空き家情報など、移住に関する情報を発信しています。

苓北町 れいほくまち

人口:7,223人(平成31年3月31日現在)
面積:67.58km²
企画政策課
熊本県天草郡苓北町志岐660番地
☎0969-35-1111
kikaku@town.reihoku.lg.jp
<http://reihoku-kumamoto.jp/>



「ふるさと」と呼びたいまち 苓北

天草下島の北西端に位置し、西海岸は昭和45年に全国で最初に海中公園に指定されるなど、自然に恵まれた町です。温暖な気候で、新鮮な魚介類・農産物も楽しめます。江戸時代は天領(幕府直轄地)となり幕末まで高岡代官所が置かれるなど、歴史や文化が薫り渡ります。

主な移住・定住支援制度

- ①空き家バンク制度
- ②空き家活用支援補助制度
空き家バンク制度を介して移住される方に、住居の修繕等費用に対する補助金を交付します。
- ③保育料の軽減施設、誕生祝い金、児童・生徒の入学準備金助成など子育て世帯を応援します。

熊本県

熊本県内 での アクセス

くまもと アクセスマップ

Kumamoto access map

※掲載されている情報は2019年4月現在のものです



全国



- 問い合わせ**
- 九州産交バスサービスセンター ☎096-325-0100
 - 高速バス・九州横断バス ☎096-354-4845
 - 熊本電鉄バス ☎096-343-3023
 - JR九州案内センター ☎050-3786-1717
 - 交通情報(日本道路交通情報センター) 携帯短縮ダイヤル #8011

熊本 までの アクセス





お問い合わせ

熊本県地域振興課

〒862-8570 熊本県中央区水前寺6丁目18番1号

TEL.096-333-2181 FAX.096-381-9001

HP <http://cyber.pref.kumamoto.jp/teijyu/>

熊本 移住

検索



発行：令和元年7月

©2010 熊本県くまモン